

公共下水道汚水幹線築造工事
(7第3工区)

数量計算書

白岡市篠津・下大崎地内

目 次

1. 管渠工（小口径推進、管径 300mm）	
高耐荷力方式 泥土圧式(吸引排土方式)	P- 1
補助地盤改良工 薬液注入工	P- 5
2. 管渠工（小口径推進、管径 350mm）	
高耐荷力方式 泥土圧式(吸引排土方式)	P-10
補助地盤改良工 薬液注入工	P-14
3. 立 坑 工	
鋼製ケーシング立坑工	P-19
No.1-4-1 到達立坑 (φ 2000)	P-22
No.1-5-1 両発進発進立坑 (φ 2000)	P-25
No.1-6-1 両到達立坑 (φ 2000)	P-28
No.1-7-1 両発進発進立坑 (φ 2000)	P-31
No.1-8-1 既設発進到達立坑(φ 2000)	P-34
4. マンホール工	
2号組立マンホール工	P-37
副 管	P-41
5. 付 帯 工	
付帯工集計表	P-43
既設構造物撤去処理工	P-45
立坑影響舗装工	P-49
仮設工(プラント用地)	P-50

管 渠 工（小口径推進 管径 300mm）集 計 表
高耐荷力泥土圧推進工

名 称	種 別	単 位	数 量	備 考
路 線 延 長		m	278.85	
管 体 延 長		m	276.45	
推 進 延 長		m	274.85	
〃	内 直線延長	m	274.85	
〃	内 曲線延長	m	—	
空 伏 延 長		m	1.60	
管 本 数	推進用レジンコンクリート管 φ 300-RS			
	50N SJS L=1.00m	本	277	
〃	50N SJA L=1.00m	本		
〃	推進伝達材			
	φ 350用 t=5mm	組		
推進用可とう継手	鋼製ケーシング用 φ 300	個	4	
排 泥 処 理		m3	79.8	添加材等含む
推 進 設 備 工				
坑 口	発進坑口	箇所	2	
〃	到達坑口	箇所	2	
鏡 切	鋼製ケーシング	箇所	4	
推進用機器据付撤去		箇所	1	発進立坑数
同 据 換 工	方向転換	箇所	1	両発進の場合
先 導 体 据 付 工		台	2	推進スパン数
先 導 体 搬 出 工		台	2	推進スパン数
吸引装置類設置撤去		箇所	1	発進立坑数
先導体組立・整備		回	1	推進スパン数-1

管 推 進 工 (R S φ 300) 調 書												
高耐荷力泥土圧推進工												
路 線 番 号		単位	定数値	1-4		1-5						合 計
測 点				No.1-4-1		No.1-5-1						
				～No.1-5-1		～No.1-6-1						
路 線 延 長		m										278.85
				168.80		110.05						
管 体 延 長		m										276.45
				167.60		108.85						
推 進 延 長		m										274.85
				166.80		108.05						
推進延長(直線)		m										274.85
				166.80		108.05						
推進延長(曲線)		m		—		—						
空 伏 延 長		m		上流	下流	上流	下流					1.60
				0.40	0.40	0.40	0.40					
管 材 料 等	継手性能 SJS	本	1.00 m/本									277
	50N L=1.00m			168		109						
	継手性能 SJA	本										
	50N L=1.00m			—		—						
	推進伝達材	組										
	材厚 t=5			—		—						
推進用可とう継手 鋼製ケーシング 用 φ 300	個										4	
排 泥 処 理		m3										79.81
推進関連調書より				48.44		31.37						
推 進 設 備	坑口	箇所										2
	発進坑口				1	1						
	到達坑口	箇所										2
				1			1					
	鏡切	箇所										4
	鋼製ケーシング				1	1	1	1				
	推進用機器	箇所										1
	据付撤去					1						
	据換工	箇所				1						1
	先導体据付工	台										2
発進立坑				1	1							
先導体搬出工	台										2	
到達立坑				1			1					
吸引装置類	箇所										1	
設置撤去					1							
先導体	回										1	
組立・整備				1								

高耐荷力泥土圧RS φ 300 関連数量			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
1-4 路線	No.1-4-1～No.1-5-1 推進延長	166.80 m	
推進掘削土量	推進断面積(先導機断面)×推進延長 HP φ 250	0.132 m ³ /m	
	0.132m ³ /m × 166.80m(推進延長) =		22.02 m ³
添加材注入量	添加材注入率 α = (1.2 + 0.3 × G / 100 + 0.7 × (G / 100) ²) × 100) %		
	G : 礫含有率 0.0 % (R5-No.5 粘性土層) α = 120.0 %		
	22.02m ³ × 120.0%(添加材注入率) =		26.42 m ³
排泥処理量	直接排土方式:掘削土量+添加材注入量 計		48.44 m ³
管内配管延長:L1	推進延長－先導体長 166.80m － 2.95m =		163.85 m
坑外配管延長:L2	地上配管延長+立坑配管延長 20m + 10m =		30.00 m
排土管	=L1:管内配管延長		163.85 m
添加材ホース・操作ホース類	=L1:管内配管延長 + L2:坑外配管延長		193.85 m
サクションホース	=L2:坑外配管延長		30.00 m
エアホース	=L1/2:管内配管延長／2 + L2:坑外配管延長		111.93 m
路上ポイント設置延長	曲線推進延長		— m

高耐荷力泥土圧RS φ 300 関連数量			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
1-5 路線	No.1-5-1～No.1-6-1 推進延長	108.05 m	
推進掘削土量	推進断面積(先導機断面)×推進延長 HP φ 250	0.132 m ³ /m	
	0.132m ³ /m × 108.05m(推進延長) =		14.26 m ³
添加材注入量	添加材注入率 α = (1.2 + 0.3 × G / 100 + 0.7 × (G / 100) ²) × 100) %		
	G : 礫含有率 0.0 % (R5-No.5 粘性土層) α = 120.0 %		
	14.26m ³ × 120.0% (添加材注入率) =		17.11 m ³
排泥処理量	直接排土方式:掘削土量+添加材注入量 計		31.37 m ³
管内配管延長:L1	推進延長－先導体長 108.05m － 2.95m =		105.10 m
坑外配管延長:L2	地上配管延長+立坑配管延長 20m + 10m =		30.00 m
排土管	=L1:管内配管延長		105.10 m
添加材ホース・操作ホース類	=L1:管内配管延長 + L2:坑外配管延長		135.10 m
サクションホース	=L2:坑外配管延長		30.00 m
エアホース	=L1/2:管内配管延長／2 + L2:坑外配管延長		82.55 m
路上ポイント設置延長	曲線推進延長		— m

薬液注入工集計表（高耐荷力泥土圧推進工）

推 進 工 法 管種・管径		高耐荷力泥土圧推進工 RS φ 300								
立 坑 番 号		1-4-1 到達	1-5-1 両発進		1-6-1 両到達					合 計
改 良 位 置		坑口 下流	坑口 上流	坑口 下流	坑口 上流					
1本当り 注入量	全体	0.784	0.866	0.863	0.830					3.343 KL
	溶液型 瞬結材	0.392	0.406	0.406	0.400					1.604 KL
	溶液型 緩結材	0.392	0.460	0.457	0.430					1.739 KL
削 孔 長	粘性土	4.56	5.51	5.53	6.01					
	砂質土	3.00	2.00	2.00	2.00					
	砂礫土									
注 入 長	粘性土	2.86	2.19	2.21	2.49					
	砂質土		0.67	0.65	0.38					
	砂礫土									
注 入 本 数		8	8	8	8					32 本
未造成土被り		4.70	4.65	4.67	5.15					
観測井設置 (削孔長)	粘性土	4.56	—	5.53	—					10.09 m
	砂質土	3.00	—	2.00	—					5.00 m
	砂礫土	—	—	—	—					m
	粘性土	1.00	—	1.00	—					2.00 m
	砂質土	—	—	—	—					m
	砂礫土	—	—	—	—					m

注 入 量 の 計 算（高耐荷力泥土圧推進工）													
立坑番号	改良位置	対象土量(m3)					注入率 %	注入量 (kL)	材料別 注入量(kL)		注入 本数	1 本当り 注入量	
		土質	N値	対象面積	注入長	V			懸濁型 瞬結材	懸濁型 緩結材		瞬結材 (kL)	緩結材 (kL)
No.1-4-1 到達立坑	坑口 下流	粘土	ゆるい	7.83	2.860	22.39	28.0	6.269	1 3.135	1 3.134	8		0.392
		砂	ゆるい	7.83			40.5		1 	1.5 			
No.1-5-1 両発進立坑	坑口 上流	粘土	ゆるい	7.83	2.190	17.15	28.0	4.802	1 2.401	1 2.401	8		0.406
		砂	ゆるい	7.83	0.670	5.25	40.5	2.126	0.850	1.276			
	坑口 下流	粘土	ゆるい	7.83	2.210	17.30	28.0	4.844	1 2.422	1 2.422	8		0.406
		砂	ゆるい	7.83	0.650	5.09	40.5	2.061	0.824	1.237			
No.1-6-1 両到達立坑	坑口 上流	粘土	ゆるい	7.83	2.485	19.46	28.0	5.449	1 2.725	1 2.724	8		0.400
		砂	ゆるい	7.83	0.375	2.94	40.5	1.191	0.476	0.715			

土　質	N値		間隙率 ρ (%)	注入充填率 α (%)	注入率 (%)	瞬結材：緩結材	適　　　　　用
粘性土	ゆるい～中　位	0～4	70	40	28.0	1　：　0	目的(止水・地盤強化)により選定する。
	中　位～締った	4～8	60	40	24.0	1　：　1	
砂質土	ゆるい～中　位	0～30	45	90	40.5	1　：　1～2	ゆるい　N値　0～10
	中　位～締った	30以上	35	90	31.5	1　：　2～3	中　位　N値　10～30
						1　：　3～4	締った　N値　30～
砂礫土	ゆるい～中　位	0～50	40	90	36.0	1　：　0.5	細粒分が少ない場合
	中　位～締った	50以上	35	90	31.5	1　：　1～2	細粒分が多い場合又は止水を目的とする場合

薬液注入工 (No.1-4-1 到達立坑)

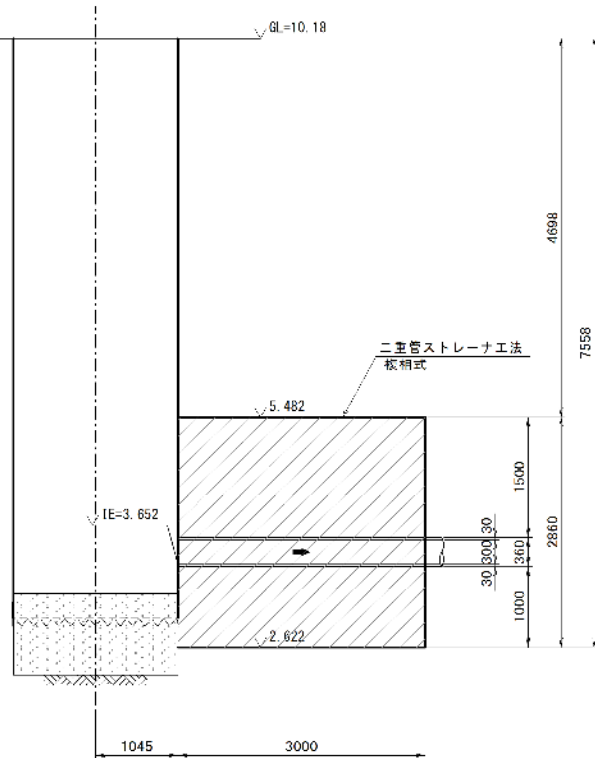
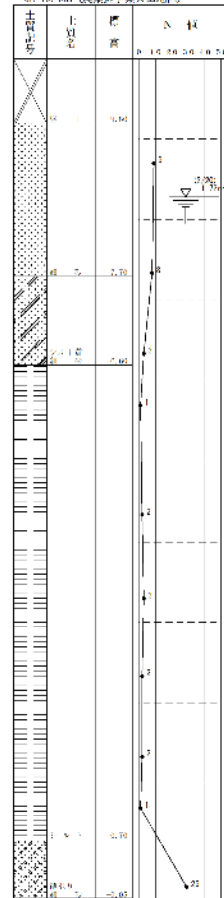
BOR-H12-No. J

略

図

平成13年度 沼津市 下水道 工事

6. 10. 40m (農林業用排水用)



計 算 書

注入面積計算

注入面積計算 坑口下流

= m²

$2.360 \times (3.000 + 1.045)$

$- 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2$

= 7.83 m²

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	10.180	9.600	0.580	
砂質土	9.600	6.600		3.000
粘性土	6.600	2.622	3.978	
砂質土				
合 計			4.558	3.000

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土	5.482	2.622	2.860	
砂質土				
合 計			2.860	

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

注入本数

1m ² /本

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
10.180	5.482	4.698

注入本数

1m ² /本
8

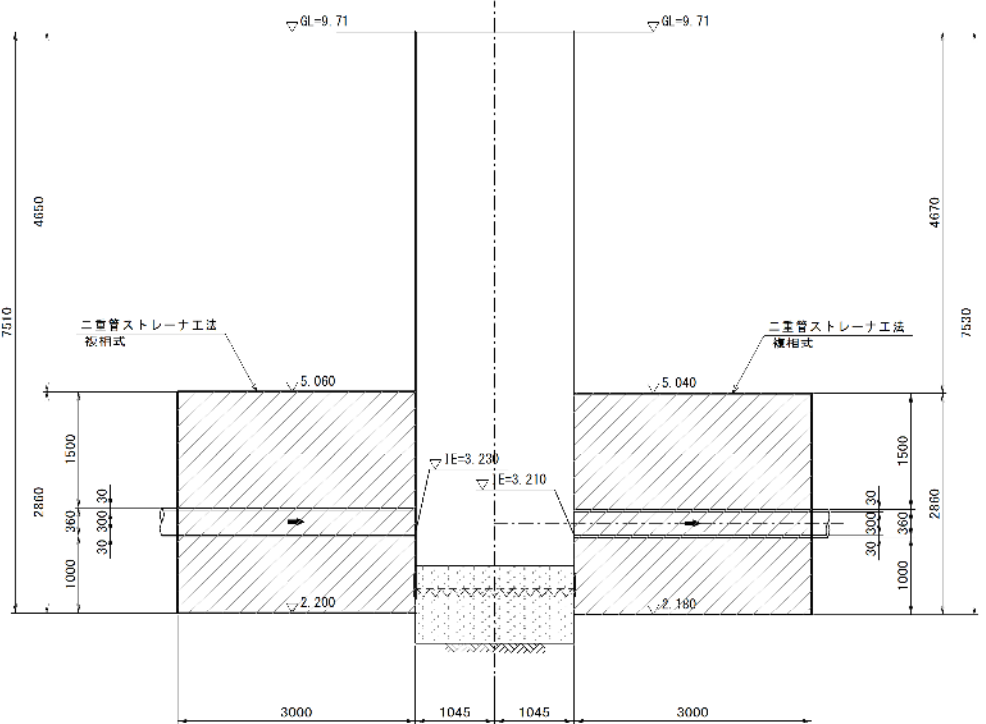
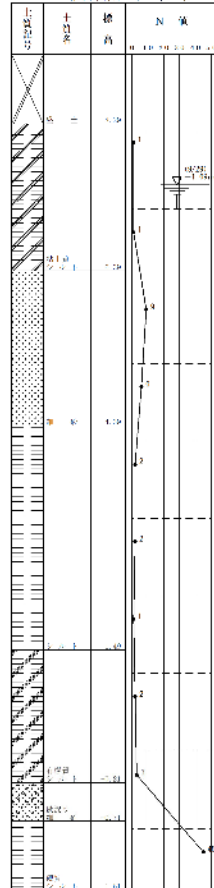
薬液注入工 (No.1-5-1 両発進立坑)

BOR-R5-No. 5

略

図

令和5年度 ボーリング 第 5
第 3.19m (土質試験・土質調査用)



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.360 \times (3.000 + 1.045) - 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 7.83 \text{ m}^2$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.360 \times (3.000 + 1.045) - 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = 7.83 \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	9.710	6.390	3.320	
砂質土	6.390	4.390		2.000
粘性土	4.390	2.200	2.190	
砂質土				
合 計			5.510	2.000

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	9.710	6.390	3.320	
砂質土	6.390	4.390		2.000
粘性土	4.390	2.180	2.210	
砂質土				
合 計			5.530	2.000

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土	5.060	4.390		0.670
粘性土	4.390	2.200	2.190	
砂質土				
合 計			2.190	0.670

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土	5.040	4.390		0.650
粘性土	4.390	2.180	2.210	
砂質土				
合 計			2.210	0.650

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
9.710	5.060	4.650

注入本数

1m2/本
8

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
9.710	5.040	4.670

注入本数

1m2/本
8

薬液注入工 (No.1-6-1 両到達立坑)

略

図

BOR-R5-No. 5

図 6L=9.91

5145

8005

二重底ストレナエ法
縦相式

▽4.765

▽1.905

▽1E=2.935

3000

1045

2860

1500

360

300

30

1000

全部図面 水・ランタ 汚・No. 6
(上層・下層・門限・上層・下層・下層・下層)

土質 記号	層 名	厚 さ	N 値
1	1	1.0	10
2	2	1.0	10
3	3	1.0	10
4	4	1.0	10
5	5	1.0	10
6	6	1.0	10
7	7	1.0	10
8	8	1.0	10
9	9	1.0	10
10	10	1.0	10
11	11	1.0	10
12	12	1.0	10
13	13	1.0	10
14	14	1.0	10
15	15	1.0	10
16	16	1.0	10
17	17	1.0	10
18	18	1.0	10
19	19	1.0	10
20	20	1.0	10
21	21	1.0	10
22	22	1.0	10
23	23	1.0	10
24	24	1.0	10
25	25	1.0	10
26	26	1.0	10
27	27	1.0	10
28	28	1.0	10
29	29	1.0	10
30	30	1.0	10
31	31	1.0	10
32	32	1.0	10
33	33	1.0	10
34	34	1.0	10
35	35	1.0	10
36	36	1.0	10
37	37	1.0	10
38	38	1.0	10
39	39	1.0	10
40	40	1.0	10
41	41	1.0	10
42	42	1.0	10
43	43	1.0	10
44	44	1.0	10
45	45	1.0	10
46	46	1.0	10
47	47	1.0	10
48	48	1.0	10
49	49	1.0	10
50	50	1.0	10
51	51	1.0	10
52	52	1.0	10
53	53	1.0	10
54	54	1.0	10
55	55	1.0	10
56	56	1.0	10
57	57	1.0	10
58	58	1.0	10
59	59	1.0	10
60	60	1.0	10
61	61	1.0	10
62	62	1.0	10
63	63	1.0	10
64	64	1.0	10
65	65	1.0	10
66	66	1.0	10
67	67	1.0	10
68	68	1.0	10
69	69	1.0	10
70	70	1.0	10
71	71	1.0	10
72	72	1.0	10
73	73	1.0	10
74	74	1.0	10
75	75	1.0	10
76	76	1.0	10
77	77	1.0	10
78	78	1.0	10
79	79	1.0	10
80	80	1.0	10
81	81	1.0	10
82	82	1.0	10
83	83	1.0	10
84	84	1.0	10
85	85	1.0	10
86	86	1.0	10
87	87	1.0	10
88	88	1.0	10
89	89	1.0	10
90	90	1.0	10
91	91	1.0	10
92	92	1.0	10
93	93	1.0	10
94	94	1.0	10
95	95	1.0	10
96	96	1.0	10
97	97	1.0	10
98	98	1.0	10
99	99	1.0	10
100	100	1.0	10

計 算 書	
-------	--

注入面積計算 坑口上流 $2.360 \times (3.000 + 1.045) - 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = \underline{\quad 7.83 \text{ m}^2 \quad}$	注入面積計算 $= \underline{\hspace{2cm} \text{m}^2 \hspace{2cm}}$
--	--

$$= \frac{m^2}{2}$$

削孔長計算書					削孔長計算書				
土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土	土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	9.910	6.390	3.520		粘性土				
砂質土	6.390	4.390		2.000	砂質土				
粘性土	4.390	1.905	2.485		粘性土				
砂質土					砂質土				
合 計			6.005	2.000	合 計				

土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土					
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計					

注入長計算書						注入長計算書					
土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土	土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土						粘性土					
砂質土		4.765	4.390		0.375	砂質土					
粘性土		4.390	1.905	2.485		粘性土					
砂質土						砂質土					
合 計				2.485	0.375	合 計					

土 質		削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土					
砂質土					
粘性土					
砂質土					
合 計					

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)	1m2/本	地 盤 高	注入上部高	土被り(m)	1m2/本
9.910	4.765	5.145	8				

管 渠 工（小口径推進 管径 350mm）集 計 表
高耐荷力泥土圧推進工

名 称	種 別	単 位	数 量	備 考
路 線 延 長		m	424.20	
管 体 延 長		m	421.80	
推 進 延 長		m	420.20	
〃	内 直線延長	m	420.20	
〃	内 曲線延長	m	—	
空 伏 延 長		m	1.60	
管 本 数	推進用レジンコンクリート管 φ 350-RS			
	50N SJS L=1.00m	本	423	
〃	50N SJA L=1.00m	本		
〃	推進伝達材			
	φ 350用 t=5mm	組		
推進用可とう継手	鋼製ケーシング 用 φ 350	個	4	
〃	組立マンホール用 φ 400	個	1	
排 泥 処 理		m3	156.2	添加材等含む
推 進 設 備 工				
坑 口	発進坑口	箇所	2	
〃	到達坑口	箇所	2	
鏡 切	鋼製ケーシング	箇所	4	
推進用機器据付撤去		箇所	1	発進立坑数
同 据 換 工	方向転換	箇所	1	両発進の場合
先 導 体 据 付 工		台	2	推進スパン数
先 導 体 搬 出 工		台	2	推進スパン数
吸引装置類設置撤去		箇所	1	発進立坑数
先導体組立・整備		回	1	推進スパン数-1

管 推 進 工 (R S φ 350) 調 書												
高耐荷力泥土圧推進工												
路 線 番 号		単位	定数値	1-6		1-7						合 計
測 点				No.1-6-1		No.1-7-1						
				～No.1-7-1		～既設No.1-8-1						
路 線 延 長		m										
				166.90		257.30						424.20
管 体 延 長		m										
				165.70		256.10						421.80
推 進 延 長		m										
				164.90		255.30						420.20
推進延長(直線)		m										
				164.90		255.30						420.20
推進延長(曲線)		m										
				—		—						
空 伏 延 長		m		上流	下流	上流	下流					
				0.40	0.40	0.40	0.40					1.60
管 材 料 等	継手性能 SJS	本	1.00 m/本									
	50N L=1.00m			166		257						423
	継手性能 SJA	本										
	50N L=1.00m			—		—						
	推進伝達材	組										
	材厚 t=5			—		—						
推進用可とう継手 鋼製ケーシング 用 φ 350	個			1	1	1	1				4	
組立マンホール用 φ 400	個						1				1	
排 泥 処 理		m3										
推進関連調書より				61.31		94.93						156.24
推 進 設 備	坑口	箇所										
	発進坑口				1	1					2	
	到達坑口	箇所		1			1				2	
	鏡切	箇所										
	鋼製ケーシング			1	1	1	1			4		
	推進用機器	箇所										
	据付撤去					1				1		
	据換工	箇所				1					1	
	先導体据付工	台										
	発進立坑				1	1				2		
先導体搬出工	台											
到達立坑			1			1			2			
吸引装置類	箇所											
設置撤去					1				1			
先導体	回											
組立・整備				1					1			

高耐荷力泥土圧RS φ 350 関連数量			1/2
工 種	計 算 式	数 量	
1-6 路線			
	No.1-6-1～No.1-7-1 推進延長 164.90 m		
推進掘削土量			
	推進断面積(先導機断面)×推進延長 HP φ 300 0.169 m ³ /m		
	0.169m ³ /m × 164.90m(推進延長) =	27.87 m ³	
添加材注入量			
	添加材注入率 α = (1.2 + 0.3 × G / 100 + 0.7 × (G / 100) ²) × 100) %		
	G:礫含有率 0.0 % (R5-No.4 粘性土層) α = 120.0 %		
	27.87m ³ × 120.0%(添加材注入率) =	33.44 m ³	
排泥処理量			
	直接排土方式:掘削土量+添加材注入量 計	61.31 m ³	
管内配管延長:L1			
	推進延長－先導体長 164.90m － 3.00m =	161.90 m	
坑外配管延長:L2			
	地上配管延長+立坑配管延長 20m + 10m =	30.00 m	
排土管			
	=L1:管内配管延長	161.90 m	
添加材ホース・操作ホース類			
	=L1:管内配管延長 + L2:坑外配管延長	191.90 m	
サクシヨンホース			
	=L2:坑外配管延長	30.00 m	
エアホース			
	=L1/2:管内配管延長／2 + L2:坑外配管延長	110.95 m	
路上ポイント設置延長			
	曲線推進延長	— m	

高耐荷力泥土圧RS φ 350 関連数量			2/2
工 種	計 算 式	数 量	
1-7 路線	No.1-7-1～既設No.1-8-1 推進延長	255.30 m	
推進掘削土量	推進断面積(先導機断面)×推進延長 HP φ 300	0.169 m ³ /m	
	0.169m ³ /m × 255.30m(推進延長) =	43.15 m ³	
添加材注入量	添加材注入率 α = (1.2 + 0.3 × G / 100 + 0.7 × (G / 100) ²) × 100) %		
	G : 礫含有率 0.0 % (R5-No.4 粘性土層) α = 120.0 %		
	43.15m ³ × 120.0%(添加材注入率) =	51.78 m ³	
排泥処理量	直接排土方式:掘削土量+添加材注入量 計	94.93 m ³	
管内配管延長:L1	推進延長－先導体長 255.30m － 3.00m =	252.30 m	
坑外配管延長:L2	地上配管延長+立坑配管延長 20m + 10m =	30.00 m	
排土管	=L1:管内配管延長	252.30 m	
添加材ホース・操作ホース類	=L1:管内配管延長 + L2:坑外配管延長	282.30 m	
サクションホース	=L2:坑外配管延長	30.00 m	
エアホース	=L1/2:管内配管延長／2 + L2:坑外配管延長	156.15 m	
路上ポイント設置延長	曲線推進延長	— m	

薬液注入工集計表（高耐荷力泥土圧推進工）

推 進 工 法 管種・管径		高耐荷力泥土圧推進工 RS φ 350								
立 坑 番 号		1-6-1 両到達	1-7-1 両発進		1-8-1 既設到達					合 計
改 良 位 置		坑口 下流	坑口 上流	坑口 下流	坑口 上流					
1本当り 注入量	全体	0.771	0.740	0.737	0.730					2.978 KL
	溶液型 瞬結材	0.372	0.367	0.366	0.365					1.470 KL
	溶液型 緩結材	0.399	0.373	0.371	0.365					1.508 KL
削 孔 長	粘性土	6.06	3.58	3.60	9.03					
	砂質土	2.00	5.10	5.10	1.00					
	砂礫土									
注 入 長	粘性土	2.54	2.82	2.84	2.91					
	砂質土	0.38	0.09	0.07						
	砂礫土									
注 入 本 数		9	9	9	9					36 本
未造成土被り		5.14	5.77	5.79	7.12					
観測井設置 (削孔長)	粘性土	6.06	—	3.60	—					9.66 m
	砂質土	2.00	—	5.10	—					7.10 m
	砂礫土	—	—	—	—					m
	粘性土	1.00	—	1.00	—					2.00 m
	砂質土	—	—	—	—					m
	砂礫土	—	—	—	—					m

[illegible]

表-1 二重管ストレーナー工法注入率表(複相方式) -H25下歩(参考)P18- -R2年度版 日本グラウト協会-

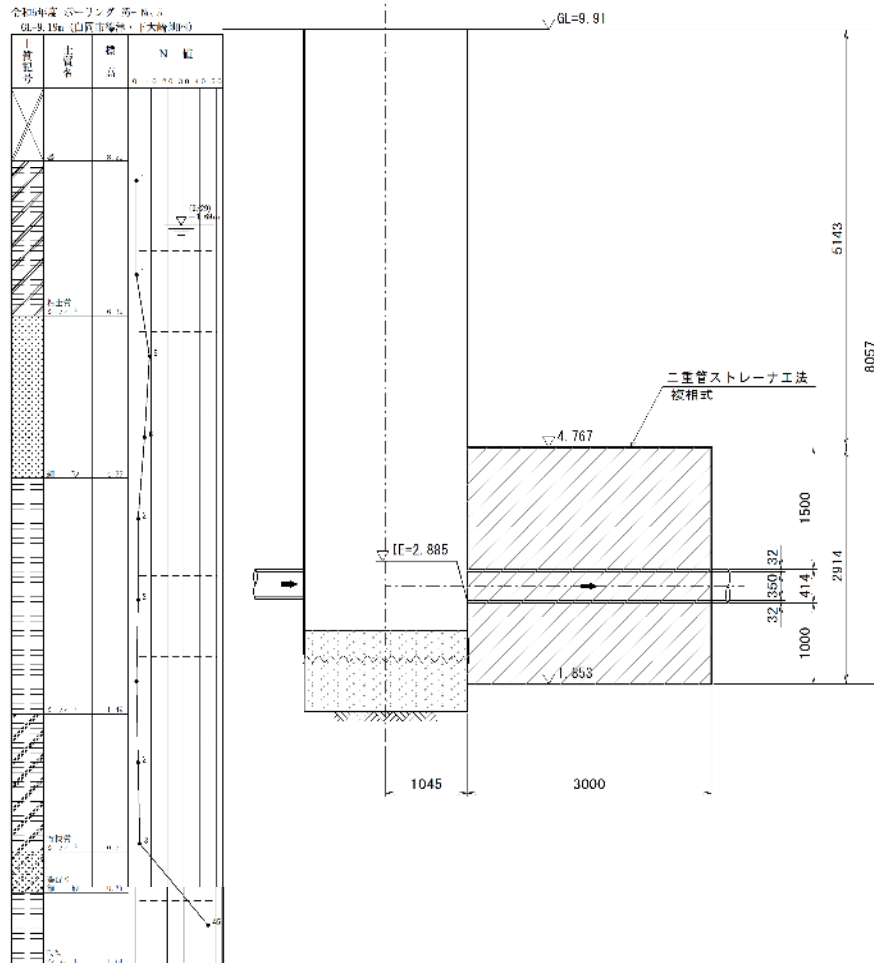
土 質	N 値		間隙率 ρ (%)	注入充填率 α (%)	注入率 (%)	瞬結材：緩結材	適 用
粘性土	ゆるい～中 位	0～4	70	40	28.0	1 : 0	目的(止水・地盤強化)により選定する。
	中 位～締った	4～8	60	40	24.0	1 : 1	
砂質土	ゆるい～中 位	0～30	45	90	40.5	1 : 1～2	ゆるい N 値 0～10
	中 位～締った	30以上	35	90	31.5	1 : 2～3	中 位 N 値 10～30
						1 : 3～4	締った N 値 30～
砂礫土	ゆるい～中 位	0～50	40	90	36.0	1 : 0.5	細粒分が少ない場合
	中 位～締った	50以上	35	90	31.5	1 : 1～2	細粒分が多い場合又は止水を目的とする場合

薬液注入工 (No.1-6-1 両到達立坑)

略

図

BOR-R5-No. 5



計 算 書

注入面積計算

注入面積計算 坑口下流

$$= \underline{\hspace{2cm}} \text{ m}^2$$

$$2.414 \times (3.000 + 1.045)$$

$$- 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2$$

$$= \underline{8.05} \text{ m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	9.910	6.390	3.520	
砂質土	6.390	4.390		2.000
粘性土	4.390	1.853	2.537	
砂質土				
合 計			6.057	2.000

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土	4.767	4.390		0.377
粘性土	4.390	1.853	2.537	
砂質土				
合 計			2.537	0.377

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

注入本数

1m2/本

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
9.910	4.767	5.143

注入本数

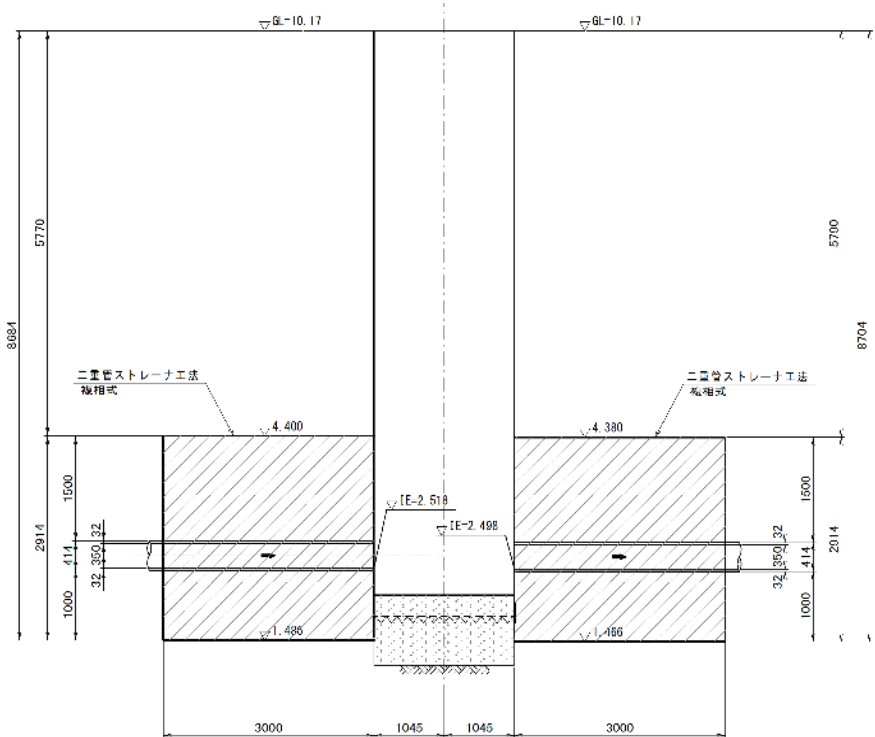
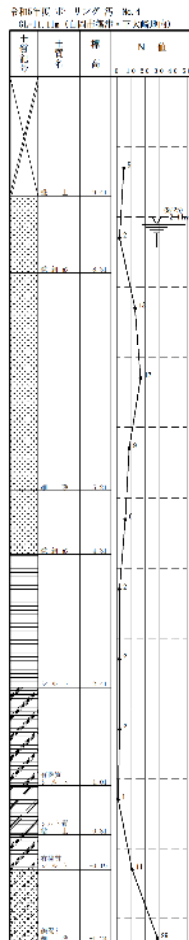
1m2/本
9

薬液注入工 (No.1-7-1 両発進立坑)

BOR-R5-No. 4

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.414 \times (3.000 + 1.045) - 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = \underline{8.05 \text{ m}^2}$$

注入面積計算 坑口下流

$$2.414 \times (3.000 + 1.045) - 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2 = \underline{8.05 \text{ m}^2}$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	10.170	9.410	0.760	
砂質土	9.410	4.310		5.100
粘性土	4.310	1.486	2.824	
砂質土				
合 計			3.584	5.100

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	10.170	9.410	0.760	
砂質土	9.410	4.310		5.100
粘性土	4.310	1.466	2.844	
砂質土				
合 計			3.604	5.100

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土	4.400	4.310		0.090
粘性土	4.310	1.486	2.824	
砂質土				
合 計			2.824	0.090

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土	4.380	4.310		0.070
粘性土	4.310	1.466	2.844	
砂質土				
合 計			2.844	0.070

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
10.170	4.400	5.770

注入本数

1m2/本
9

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
10.170	4.380	5.790

注入本数

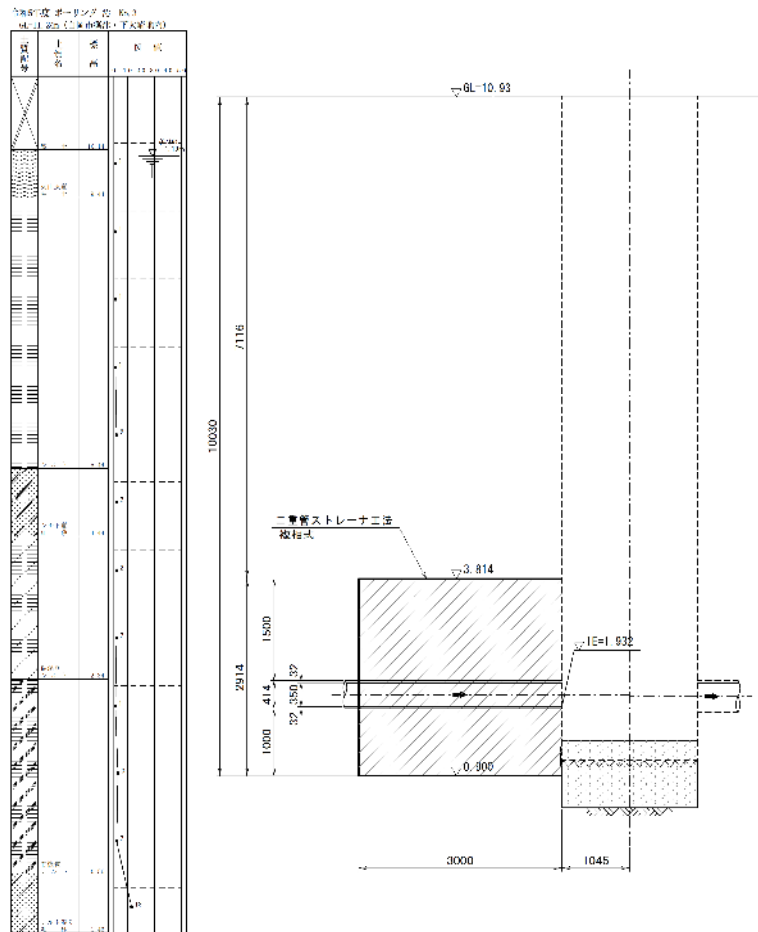
1m2/本
9

薬液注入工 (No.1-8-1 既設到達立坑)

BOR-R5-No. 3

略

図



計 算 書

注入面積計算 坑口上流

$$2.414 \times (3.000 + 1.045)$$

$$- 2.090^2 \times \pi / 4 \times 1/2$$

$$= 8.05 \text{ m}^2$$

注入面積計算

$$= \text{ } \text{m}^2$$

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土	10.930	5.440	5.490	
砂質土	5.440	4.440		1.000
粘性土	4.440	0.900	3.540	
砂質土				
合 計			9.030	1.000

削孔長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土	3.814	0.900	2.914	
砂質土				
合 計			2.914	

注入長計算書

土 質	削孔上部高	削孔底部工	粘性土	砂質土
粘性土				
砂質土				
粘性土				
砂質土				
合 計				

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)
10.930	3.814	7.116

注入本数

1m2/本
9

未造成土被り

地 盤 高	注入上部高	土被り(m)

注入本数

1m2/本

立 坑 工（鋼製ケーシング立坑）集 計 表											1/3
立 坑 番 号		単位	定数値	1-4-1	1-5-1	1-6-1	1-7-1	1-8-1		合 計	
名 称				到達	両発進	両到達	両発進	既設到達			
				φ 2000	φ 2000	φ 2000	φ 2000	φ 2000			
設置箇所数	ケーシング [*] φ 2500	箇所		—	—	—	—	—			
	φ 2000	箇所		1	1	1	1	—		4	
	φ 1800	箇所		—	—	—	—	—			
	φ 1500	箇所		—	—	—	—	—			
圧入掘削工	粘性土 φ 2500	m		—	—	—	—	—			
	砂質土 φ 2500	m		—	—	—	—	—			
	砂礫土 φ 2500	m		—	—	—	—	—			
	粘性土 φ 2000	m		4. 868	5. 790	6. 285	3. 837	施工済	夜間施工	20. 78	
	砂質土 φ 2000	m		3. 000	2. 000	2. 000	5. 100	施工済	夜間施工	12. 10	
	砂礫土 φ 2000	m		—	—	—	—	—			
	粘性土 φ 1800	m		—	—	—	—	—			
	砂質土 φ 1800	m		—	—	—	—	—			
	砂礫土 φ 1800	m		—	—	—	—	—			
	粘性土 φ 1500	m		—	—	—	—	—			
	砂質土 φ 1500	m		—	—	—	—	—			
	砂礫土 φ 1500	m		—	—	—	—	—			
	溶接工	ケーシング [*] φ 2500	箇所	7. 9 m/箇所	—	—	—	—	—		—
φ 2000		箇所	6. 3 m/箇所	2	2	2	2	施工済	夜間施工	8	
φ 1800		箇所	5. 7 m/箇所	—	—	—	—	—			
φ 1500		箇所	4. 7 m/箇所	—	—	—	—	—			
引上工	ケーシング [*] φ 2500	箇所	1. 2 m/箇所	—	—	—	—	—		—	
	φ 2000	箇所	0. 9 m/箇所	1	1	1	1	施工済	夜間施工	4	
	φ 1800	箇所	0. 9 m/箇所	—	—	—	—	—			
	φ 1500	箇所	0. 9 m/箇所	—	—	—	—	—			
撤去工	ケーシング [*] 切断 φ 2500	m		—	—	—	—	—		—	
	φ 2000	m		13. 89	13. 88	13. 90	14. 10	14. 09		69. 86	
	φ 1800	m		—	—	—	—	—			
	φ 1500	m		—	—	—	—	—			

立 坑 工 (鋼製ケーシング立坑) 集 計 表										
2/3										
立 坑 番 号	単位	定数値	1-4-1	1-5-1	1-6-1	1-7-1	1-8-1		合 計	
名 称			到達 φ 2000	両発進 φ 2000	両到達 φ 2000	両発進 φ 2000	既設到達 φ 2000			
底 盤 工	底スラブコンクリート打設 φ 2500	箇所	7.4 m3/箇所	—	—	—	—	—		
	φ 2000	箇所	3.1 m3/箇所	1	1	1	1	施工済	夜間施工	4
	φ 1800	箇所	2.5 m3/箇所	—	—	—	—	—		
	φ 1500	箇所	1.8 m3/箇所	—	—	—	—	—		
	スライム処分工 φ 2500	m3		—	—	—	—	—		
	φ 2000	m3		1.2	1.2	1.2	1.2	施工済	夜間施工	4.8
	φ 1800	m3		—	—	—	—	—		
	φ 1500	m3		—	—	—	—	—		
ケ ー シ ン グ 材 料	刃先(加工・接続) φ 2500	組		—	—	—	—	—		
	φ 2000	組		1	1	1	1	施工済		4
	φ 1800	組		—	—	—	—	—		
	φ 1500	組		—	—	—	—	—		
	ケーシング長 φ 2500	m		—	—	—	—	—		
	φ 2000	m		7.10	7.10	7.60	8.30	施工済		30.10
	φ 1800	m		—	—	—	—	—		
	φ 1500	m		—	—	—	—	—		
	スクラップ控除 φ 2500	t		—	—	—	—	—		
	φ 2000	t		1.577	1.596	1.605	1.650	1.623		8.051
	φ 1800	t		—	—	—	—	—		
	φ 1500	t		—	—	—	—	—		
	仮設ケーシング φ 2500	回		—	—	—	—	—		
	φ 2000	回		1	1	1	1	施工済		4
	φ 1800	回		—	—	—	—	—		
	φ 1500	回		—	—	—	—	—		
覆 工 板	円形覆工板 φ 2500	箇所		—	—	—	—	—		
	φ 2000	箇所		1	1	1	1	撤去のみ 1	夜間施工	5
	φ 1800	箇所		—	—	—	—	—		
	φ 1500	箇所		—	—	—	—	—		

立 坑 工 (鋼製ケーシング立坑) 集 計 表									
3/3									
立 坑 番 号	単位	定数値	1-4-1	1-5-1	1-6-1	1-7-1	1-8-1		合 計
名 称			到達 φ 2000	両発進 φ 2000	両到達 φ 2000	両発進 φ 2000	既設到達 φ 2000		
立 坑 埋 戻 し	埋戻(流動化処理土) φ 2500	m3	—	—	—	—	—		
	φ 2000	m3	8.44	8.40	9.20	10.15	12.61		48.8
	φ 1800	m3	—	—	—	—	—		
	φ 1500	m3	—	—	—	—	—		
	埋戻(再生砕石) φ 2500	m3	—	—	—	—	—		
	φ 2000	m3	3.89	3.43	3.56	3.41	3.52		17.8
	φ 1800	m3	—	—	—	—	—		
	φ 1500	m3	—	—	—	—	—		
	埋戻(発生土) φ 2500	m3	—	—	—	—	—		
	φ 2000	m3	—	—	—	—	—		
	φ 1800	m3	—	—	—	—	—		
	φ 1500	m3	—	—	—	—	—		
	発生土処理 φ 2500	m3	—	—	—	—	—		
	φ 2000	m3	27.00	26.73	28.43	30.66	施工済		112.8
	φ 1800	m3	—	—	—	—	—		
	φ 1500	m3	—	—	—	—	—		
舗 装 撤 去 工	舗装切断工 15cm以下	m	6.57	6.57	6.57	6.57	施工済		26.28
	30cm以下	m	—	—	—	—	—		
	濁水運搬処理工 アスファルト	m3	0.005	0.017	0.017	0.017	施工済		0.056
	舗装版破碎工 15cm以下	m2	3.43	3.43	3.43	3.43	施工済		13.72
	40cm以下	m2	—	—	—	—	—		
	As廃材処理	m3	0.10	0.38	0.38	0.38	—		1.24
道 路 復 旧 工	車道 仮復旧31cm	m2	—	2.90	2.90	2.90	2.90		11.60
	車道 置換層100cm埋戻し	m2	—	—	—	—	—		
	歩道一般 仮復旧13cm	m2	2.90	—	—	—	—		2.90

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-4-1 到達)			1/3
工 種	計 算 式	数 量	
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 2000		
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高 $10.18 - 3.652 + 0.370 =$	6.898 m	
掘削圧入深	立坑深＋基礎厚－先掘深(舗装厚) $6.898 + 1.000 - 0.030 =$	7.868 m	
粘 性 土	ボーリング H12-農-No.j より	4.868 m	
砂 質 土		3.000 m	
砂 礫 土		m	
溶 接 工	6.3m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所	
引 上 長	0.9m/箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
撤 去 工 切断工 (4分割)	$2.00 \times \pi + 1.902(\text{撤去長}) \times 4\text{分割} =$	13.89 m	
底スラブコンクリート工	3.1m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
うわ水排水・スライム処理		1 箇所	
泥水運搬処理工	1.2m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1.2 m ³	
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕 $6.898 + 0.300 - 0.098 =$	7.10 m	
刃先 φ 2000用		1 組	
先頭ケーシング φ 2000		2.40 m	
中間ケーシング φ 2000		2.40 m	
最終ケーシング φ 2000		2.30 m	
ス ク ラ ッ プ	$1.902(\text{撤去長}) \times 0.818 \text{ t/m} =$	1.556 t	
	流入管口 φ 300＋余裕100 $0.460^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 1\text{箇所} =$	0.021 t	
	計 1.577 t	1.577 t	
仮設ケーシング φ 2000		1 回	
覆 工 板	円形覆工板 φ 2000用	1 箇所	

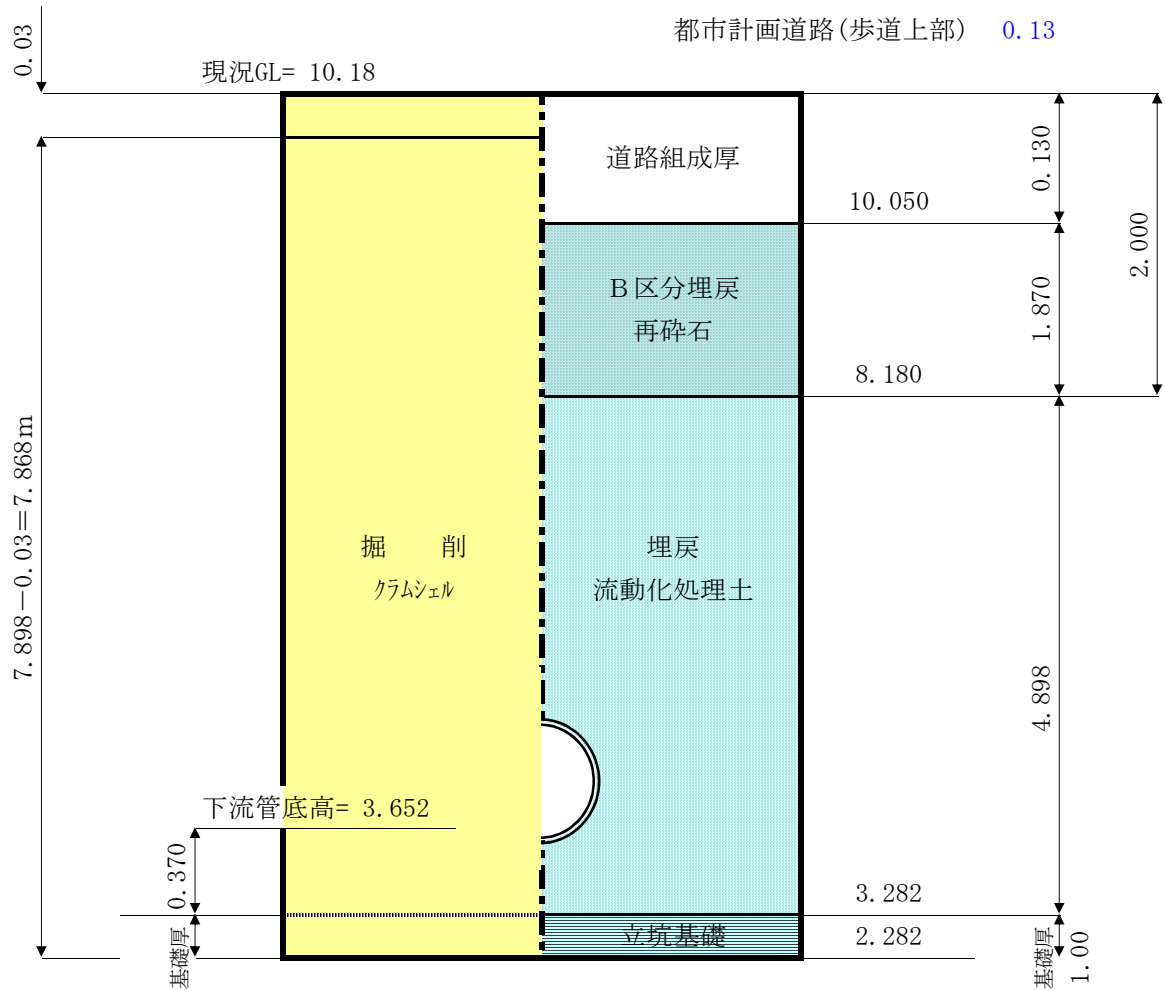
鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-4-1 到達)			2/3
工 種	計 算 式	数 量	
掘 削 深	立坑深+基礎厚		
	$6.898 + 1.00 =$	7.898 m	
立 坑 面 積			
	外径 $2.090^2 \times \pi / 4 =$ 3.431 m ²		
	内径 $2.058^2 \times \pi / 4 =$ 3.326 m ²		
機 械 掘 削			
立坑掘削			
クラムシェル0.40m ³	立坑部 $3.431 \times (7.898 - 0.03) =$ 26.995 m ³	27.00 m ³	
立坑埋戻し			
埋戻(流動化処理土)			
	充填高(土工図より) 4.898 m		
	全体 $3.326 \times 4.898 =$ 16.291 m ³		
	控除		
	底版等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times (0.150 + 0.000) =$ -0.248 m ³		
	Ⅱ種		
	躯体等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times 1.800 =$ -2.971 m ³		
	Ⅰ種		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 2.948 =$ -4.536 m ³		
	推進管		
	下流管 $0.360^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.031 m ³		
	外副管		
	$0.166^2 \times \pi / 4 \times 3.203 =$ -0.069 m ³		
	計 8.436 m ³	8.44 m ³	
埋戻(再生砕石)			
	埋戻高(土工図より) 1.870 m		
	全体 $3.431 \times 1.870 =$ 6.416 m ³		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 1.252 =$ -1.926 m ³		
	斜壁等 $1.110^2 \times \pi / 4 \times 0.618 =$ -0.598 m ³		
	計 3.892 m ³	3.89 m ³	
発 生 土 処 理			
	掘削土量－発生土埋戻土量×1.11		
	$26.995 - 0.000 \times 1.11 =$	27.00 m ³	

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-4-1 到達)

3/3

工 種	計 算 式	数 量
舗装切断工 15cm以下	$2.090 \times \pi =$	6.57 m
濁水処分工 As t=3cm	$6.57 \times 0.078\text{m}^3/100\text{m} =$	0.005 m ³
舗装版破碎工 15cm以下	$2.090^2 \times \pi / 4 =$	3.43 m ²
アスコン廃材処理工	$3.43 \times 0.03 =$	0.10 m ³
道路復旧工 都計道歩道 13cm	$3.43 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.90 m ²

土 工 略 図



鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-5-1 両発進)			1/3
工 種	計 算 式	数 量	
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 2000		
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高		
	$9.71 - 3.210 + 0.400 =$	6.900 m	
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－先掘深(舗装厚)		
	$6.900 + 1.000 - 0.110 =$	7.790 m	
粘 性 土	ボーリング R4-No.1-2 より		
		5.790 m	
砂 質 土			
		2.000 m	
砂 礫 土			
		m	
溶 接 工			
	6.3m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所	
引 上 長			
	0.9m/箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
撤 去 工 切断工 (4分割)			
	$2.00 \times \pi + 1.900(\text{撤去長}) \times 4\text{分割} =$	13.88 m	
底スラブコンクリート工			
	3.1m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
うわ水排水・スライム処理			
		1 箇所	
泥水運搬処理工			
	1.2m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1.2 m ³	
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕		
	$6.900 + 0.300 - 0.100 =$	7.10 m	
刃先 φ 2000用			
		1 組	
先頭ケーシング φ 2000			
		2.40 m	
中間ケーシング φ 2000			
		2.40 m	
最終ケーシング φ 2000			
		2.30 m	
ス ク ラ ッ プ			
	$1.900(\text{撤去長}) \times 0.818 \text{ t/m} =$	1.554 t	
	流入管口 φ 300＋余裕100		
	$0.460^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 2\text{箇所} =$	0.042 t	
	計 1.596 t	1.596 t	
仮設ケーシング φ 2000			
		1 回	
覆 工 板			
	円形覆工板 φ 2000用	1 箇所	

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-5-1 両発進)

2/3

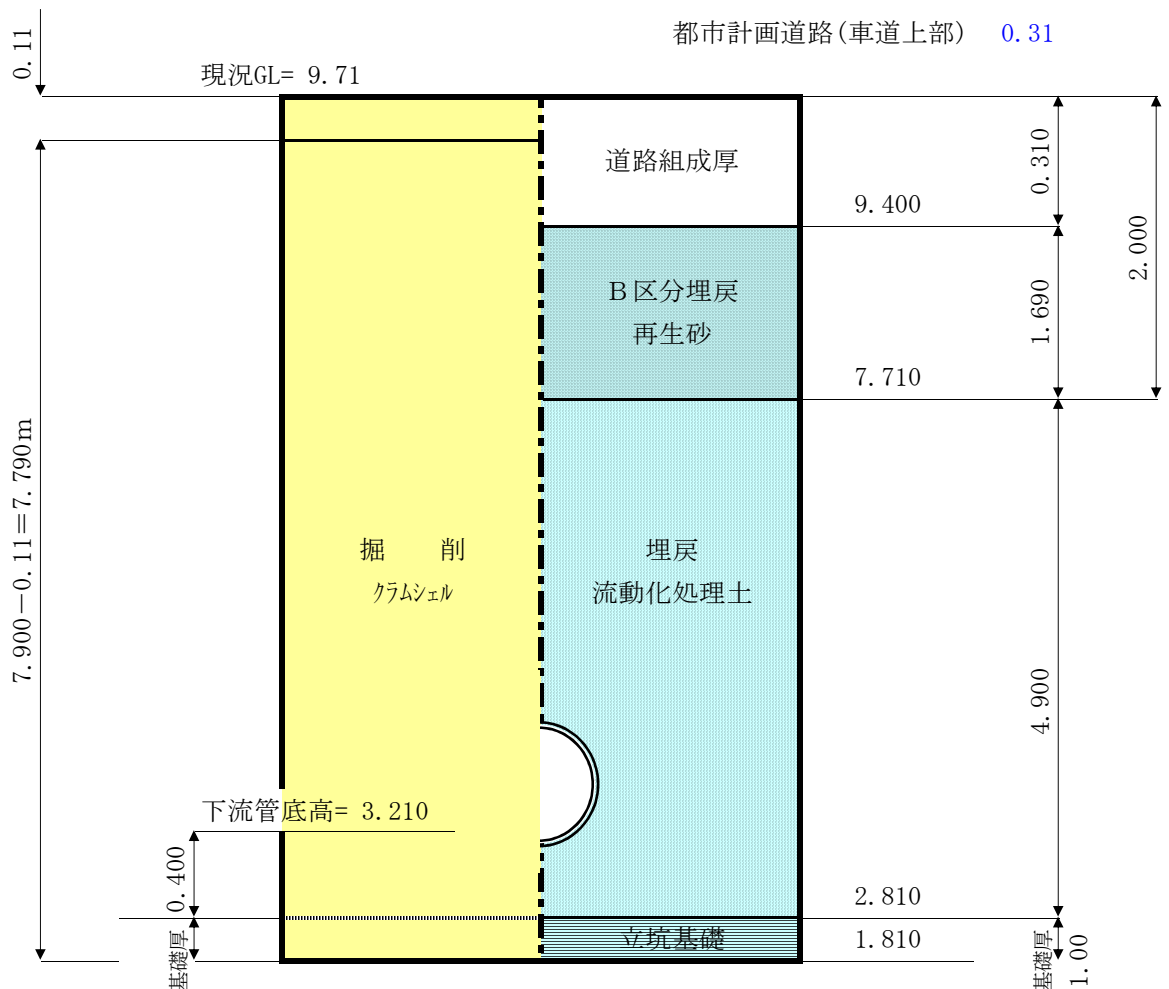
工 種	計 算 式	数 量
掘 削 深	立坑深+基礎厚	
	$6.900 + 1.00 =$	7.900 m
立 坑 面 積		
	外径 $2.090^2 \times \pi / 4 =$ 3.431 m ²	
	内径 $2.058^2 \times \pi / 4 =$ 3.326 m ²	
機 械 掘 削		
立坑掘削		
クラムシェル0.40m ³	立坑部 $3.431 \times (7.900 - 0.11) =$ 26.727 m ³	26.73 m ³
立坑埋戻し		
埋戻(流動化処理土)		
	充填高(土工図より) 4.900 m	
	全体 $3.326 \times 4.900 =$ 16.297 m ³	
	控除	
	底版等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times (0.150 + 0.030) =$ -0.297 m ³	
	Ⅱ種	
	躯体等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times 1.800 =$ -2.972 m ³	
	Ⅰ種	
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 2.920 =$ -4.495 m ³	
	推進管	
	下流管 $0.360^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.031 m ³	
	推進管	
	上流管 $0.360^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.031 m ³	
	外副管	
	$0.166^2 \times \pi / 4 \times 3.130 =$ -0.068 m ³	
	計 8.403 m ³	8.40 m ³
埋戻(再生砕石)		
	埋戻高(土工図より) 1.690 m	
	全体 $3.431 \times 1.690 =$ 5.798 m ³	
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 1.280 =$ -1.970 m ³	
	斜壁等 $1.110^2 \times \pi / 4 \times 0.410 =$ -0.397 m ³	
	計 3.431 m ³	3.43 m ³
発 生 土 処 理		
	掘削土量－発生土埋戻土量×1.11	
	$26.727 - 0.000 \times 1.11 =$	26.73 m ³

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-5-1 両発進)

3/3

工 種	計 算 式	数 量
舗装切断工 15cm以下	$2.090 \times \pi =$	6.57 m
濁水処分工 As t=11cm	$6.57 \times 0.262\text{m}^3/100\text{m} =$	0.017 m ³
舗装版破碎工 15cm以下	$2.090^2 \times \pi / 4 =$	3.43 m ²
アスコン廃材処理工	$3.43 \times 0.11 =$	0.38 m ³
道路復旧工 都計道車道 31cm	$3.43 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.90 m ²

土 工 略 図

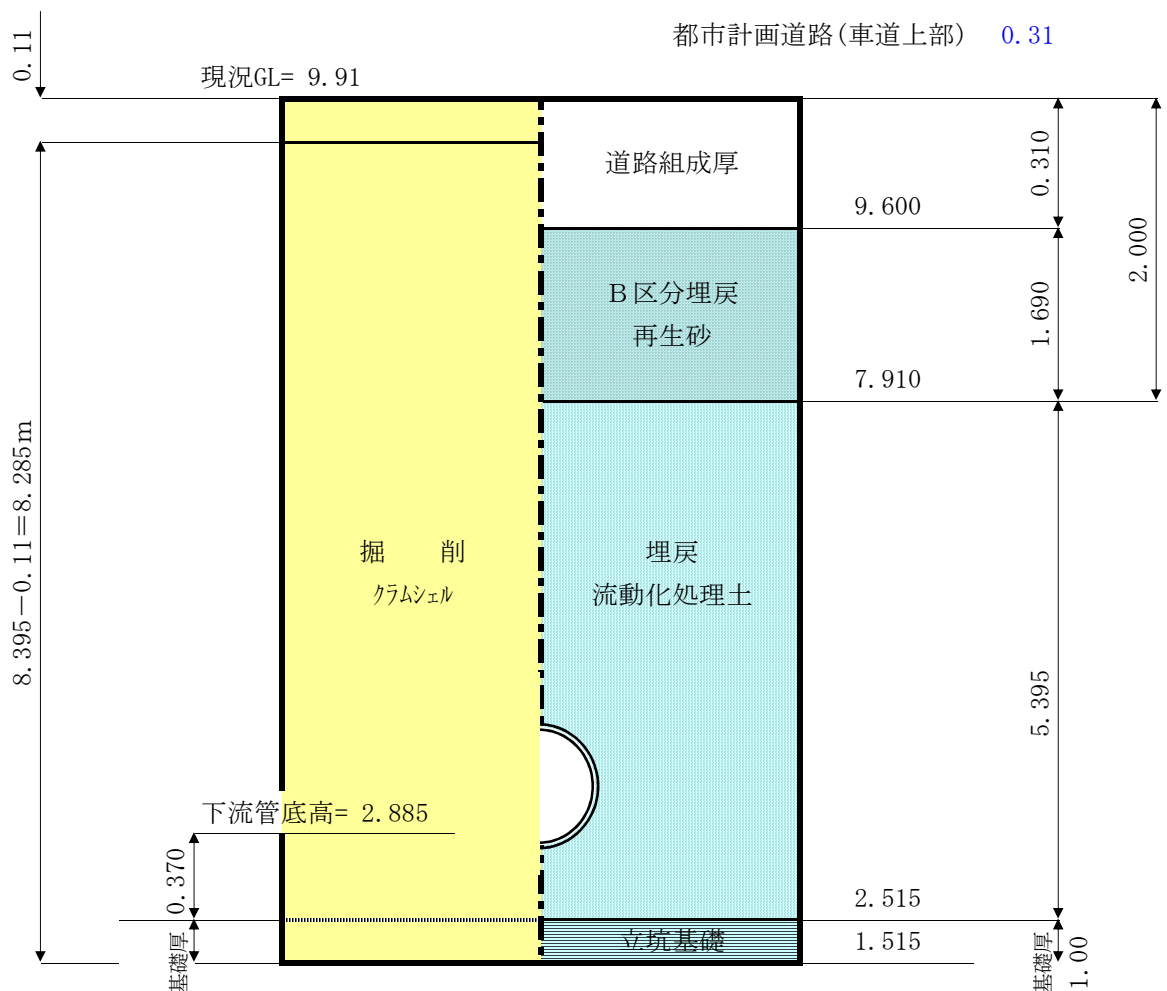


鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-6-1 両到達)			1/3
工 種	計 算 式	数 量	
立 坑 形 状			
	鋼製ケーシング立坑 φ 2000		
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高		
	$9.91 - 2.885 + 0.370 =$	7.395 m	
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－先掘深(舗装厚)		
	$7.395 + 1.000 - 0.110 =$	8.285 m	
粘 性 土	ボーリング R5-No.5 より		
		6.285 m	
砂 質 土			
		2.000 m	
砂 礫 土			
		m	
溶 接 工			
	6.3m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所	
引 上 長			
	0.9m/箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
撤 去 工 切断工 (4分割)			
	$2.00 \times \pi + 1.905(\text{撤去長}) \times 4\text{分割} =$	13.90 m	
底スラブコンクリート工			
	3.1m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
うわ水排水・スライム処理			
		1 箇所	
泥水運搬処理工			
	1.2m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1.2 m ³	
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕		
	$7.395 + 0.300 - 0.095 =$	7.60 m	
刃先 φ 2000用			
		1 組	
先頭ケーシング φ 2000			
		2.60 m	
中間ケーシング φ 2000			
		2.50 m	
最終ケーシング φ 2000			
		2.50 m	
ス ク ラ ッ プ			
	$1.905(\text{撤去長}) \times 0.818 \text{ t/m} =$	1.558 t	
	流入管口 φ 350＋余裕100		
	$0.514^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 1\text{箇所} =$	0.026 t	
	流入管口 φ 300＋余裕100		
	$0.460^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 1\text{箇所} =$	0.021 t	
	計	1.605 t	1.605 t
仮設ケーシング φ 2000			
		1 回	

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-6-1 両到達)			2/3
工 種	計 算 式	数 量	
覆 工 板			
	円形覆工板 φ2000用	1 箇所	
掘 削 深	立坑深+基礎厚		
	7.395+1.00=	8.395 m	
立 坑 面 積			
	外径 $2.090^2 \times \pi / 4 =$ 3.431 m ²		
	内径 $2.058^2 \times \pi / 4 =$ 3.326 m ²		
機 械 掘 削			
立坑掘削			
クラムシェル0.40m ³	立坑部 $3.431 \times (8.395 - 0.11) =$ 28.426 m ³	28.43 m ³	
立坑埋戻し			
埋戻(流動化処理土)			
	充填高(土工図より) 5.395 m		
	全体 $3.326 \times 5.395 =$ 17.944 m ³		
	控除		
	底版等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times (0.150 + 0.000) =$ -0.248 m ³		
	Ⅱ種		
	躯体等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times 2.400 =$ -3.961 m ³		
	Ⅰ種		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 2.845 =$ -4.377 m ³		
	推進管		
	下流管 $0.414^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.041 m ³		
	推進管		
	上流管 $0.360^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.031 m ³		
	外副管		
	$0.166^2 \times \pi / 4 \times 3.962 =$ -0.086 m ³		
	計 9.200 m ³	9.20 m ³	
埋戻(再生碎石)			
	埋戻高(土工図より) 1.690 m		
	全体 $3.431 \times 1.690 =$ 5.798 m ³		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 1.055 =$ -1.623 m ³		
	斜壁等 $1.110^2 \times \pi / 4 \times 0.635 =$ -0.614 m ³		
	計 3.561 m ³	3.56 m ³	

3/3

土工略図



鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-7-1 両発進)			1/3
工 種	計 算 式	数 量	
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 2000		
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高 $10.17 - 2.498 + 0.375 =$	8.047 m	
掘削圧入深	立坑深＋基礎厚－先掘深(舗装厚) $8.047 + 1.000 - 0.110 =$	8.937 m	
粘 性 土	ボーリング R5-No.4 より	3.837 m	
砂 質 土		5.100 m	
砂 礫 土		m	
溶 接 工	6.3m/箇所(ケーシング接合箇所当り)	2 箇所	
引 上 長	0.9m/箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
撤 去 工 切断工 (4分割)	$2.00 \times \pi + 1.953(\text{撤去長}) \times 4\text{分割} =$	14.10 m	
底スラブコンクリート工	3.1m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1 箇所	
うわ水排水・スライム処理		1 箇所	
泥水運搬処理工	1.2m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)	1.2 m ³	
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕 $8.047 + 0.300 - 0.047 =$	8.30 m	
刃先 φ 2000用		1 組	
先頭ケーシング φ 2000		2.80 m	
中間ケーシング φ 2000		2.80 m	
最終ケーシング φ 2000		2.70 m	
ス ク ラ ッ プ	$1.953(\text{撤去長}) \times 0.818 \text{ t/m} =$	1.598 t	
	流入管口 φ 350＋余裕100 $0.514^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 2\text{箇所} =$	0.052 t	
	計 1.650 t	1.650 t	
仮設ケーシング φ 2000		1 回	
覆 工 板	円形覆工板 φ 2000用	1 箇所	

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-7-1 両発進)

2/3

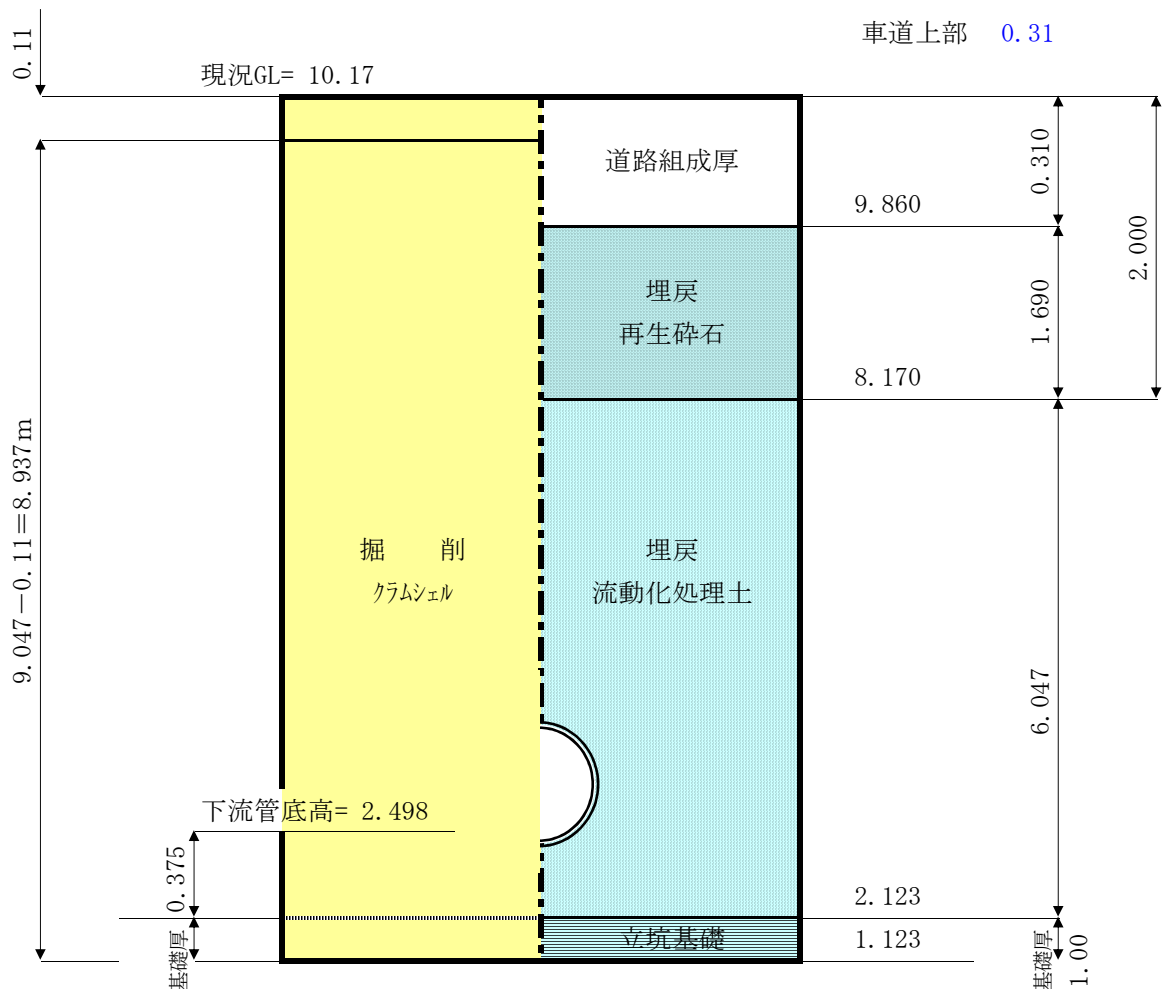
工 種	計 算 式	数 量
掘 削 深	立坑深+基礎厚	
	$8.047 + 1.00 =$	9.047 m
立 坑 面 積		
	外径 $2.090^2 \times \pi / 4 =$ 3.431 m ²	
	内径 $2.058^2 \times \pi / 4 =$ 3.326 m ²	
機 械 掘 削		
立坑掘削 クラムシェル0.40m ³	立坑部 $3.431 \times (9.047 - 0.11) =$ 30.663 m ³	30.66 m ³
立坑埋戻し		
埋戻(流動化処理土)		
	充填高(土工図より) 6.047 m	
	全体 $3.326 \times 6.047 =$ 20.112 m ³	
	控除	
	底版等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times (0.150 + 0.005) =$ -0.256 m ³	
	Ⅱ種	
	躯体等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times 3.000 =$ -4.954 m ³	
	Ⅰ種	
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 2.892 =$ -4.452 m ³	
	推進管	
	下流管 $0.414^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.041 m ³	
	推進管	
	上流管 $0.414^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.041 m ³	
	外副管	
	$0.166^2 \times \pi / 4 \times (4.757 + 5.523) =$ -0.222 m ³	
	計 10.146 m ³	10.15 m ³
埋戻(再生砕石)		
	埋戻高(土工図より) 1.690 m	
	全体 $3.431 \times 1.690 =$ 5.798 m ³	
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 1.308 =$ -2.014 m ³	
	斜壁等 $1.110^2 \times \pi / 4 \times 0.382 =$ -0.370 m ³	
	計 3.414 m ³	3.41 m ³
発 生 土 処 理		
	掘削土量－発生土埋戻土量×1.11	
	$30.663 - 0.000 \times 1.11 =$	30.66 m ³

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-7-1 両発進)

3/3

工 種	計 算 式	数 量
舗装切断工 15cm以下	$2.090 \times \pi =$	6.57 m
濁水処分工 As t=11cm	$6.57 \times 0.262\text{m}^3/100\text{m} =$	0.017 m ³
舗装版破碎工 15cm以下	$2.090^2 \times \pi / 4 =$	3.43 m ²
アスコン廃材処理工	$3.43 \times 0.11 =$	0.38 m ³
道路復旧工 車道 31cm	$3.43 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.90 m ²

土 工 略 図



鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-8-1 既設到達)			1/3
工 種	計 算 式	数 量	
立 坑 形 状	鋼製ケーシング立坑 φ 2000		
ケーシング立坑深	地盤高－管底高＋余裕高		
	$10.93 - 1.882 + 0.500 =$	9.548 m	
掘 削 圧 入 深	立坑深＋基礎厚－先掘深(舗装厚)		
	$9.548 + 1.000 - 0.110 =$	10.438 m	
粘 性 土	ボーリング R5-No.3 より		
		m	
砂 質 土			
		m	
砂 礫 土			
		m	
溶 接 工	6.3m/箇所(ケーシング接合箇所当り)		箇所
引 上 長	0.9m/箇所(ケーシング φ 2000)		箇所
撤 去 工 切断工 (4分割)	$2.00 \times \pi + 1.952(\text{撤去長}) \times 4\text{分割} =$	14.09 m	
底スラブコンクリート工	3.1m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)		箇所
うわ水排水・スライム処理			箇所
泥水運搬処理工	1.2m ³ /箇所(ケーシング φ 2000)		m ³
埋設ケーシング長	立坑深＋根入長－施工余裕		
	$9.548 + 0.300 - 0.048 =$	9.80 m	
刃先 φ 2000用			組
先頭ケーシング φ 2000			m
中間ケーシング φ 2000			m
最終ケーシング φ 2000			m
ス ク ラ ッ プ	$1.952(\text{撤去長}) \times 0.818 \text{ t/m} =$	1.597 t	
	流入管口 φ 350＋余裕100		
	$0.514^2 \times \pi / 4 \times 0.126 \text{ t/m}^2 \times 1\text{箇所} =$	0.026 t	
	計 1.623 t	1.623 t	
仮設ケーシング φ 2000			回
覆 工 板	円形覆工板 φ 2000用		1 箇所

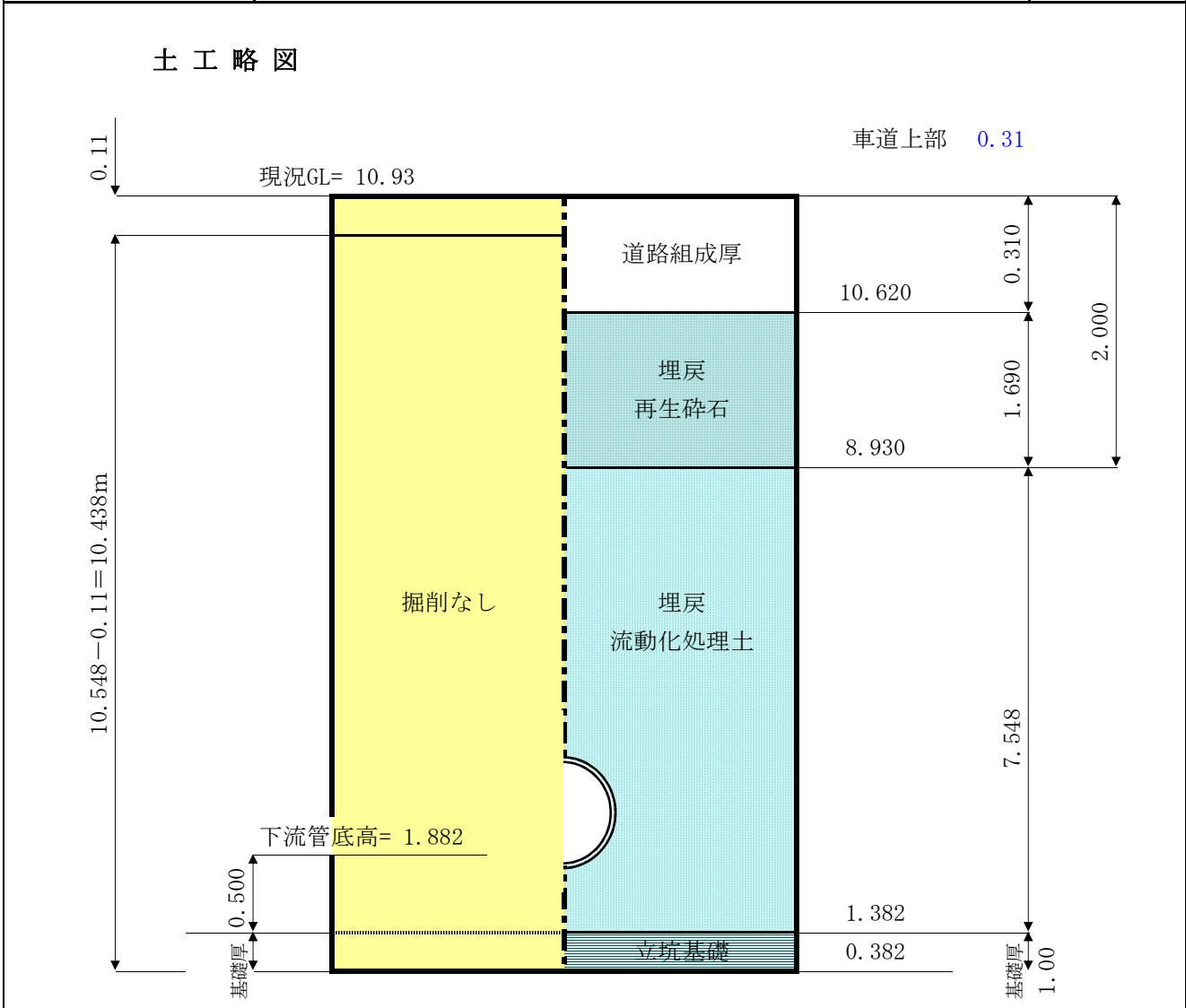
鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-8-1 既設到達)			2/3
工 種	計 算 式	数 量	
掘 削 深	立坑深+基礎厚		
	$9.548 + 1.00 =$	10.548 m	
立 坑 面 積			
	外径 $2.090^2 \times \pi / 4 =$ 3.431 m ²		
	内径 $2.058^2 \times \pi / 4 =$ 3.326 m ²		
機 械 掘 削			
立坑掘削 クラムシェル0.40m ³	立坑部 既設立坑 掘削なし	— m ³	
立坑埋戻し			
埋戻(流動化処理土)			
	充填高(土工図より) 7.548 m		
	全体 $3.326 \times 7.548 =$ 25.105 m ³		
	控除		
	底版等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times (0.150 + 0.130) =$ -0.462 m ³		
	Ⅱ種		
	躯体等 $1.450^2 \times \pi / 4 \times 4.500 =$ -7.431 m ³		
	Ⅰ種		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 2.768 =$ -4.261 m ³		
	推進管		
	下流管 $0.414^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.041 m ³		
	推進管		
	上流管 $0.470^2 \times \pi / 4 \times 0.304 =$ -0.053 m ³		
	外副管		
	$0.166^2 \times \pi / 4 \times (5.674 + 5.737) =$ -0.247 m ³		
	計 12.610 m ³	12.61 m ³	
埋戻(再生砕石)			
	埋戻高(土工図より) 1.690 m		
	全体 $3.431 \times 1.690 =$ 5.798 m ³		
	直壁等 $1.400^2 \times \pi / 4 \times 1.132 =$ -1.743 m ³		
	斜壁等 $1.110^2 \times \pi / 4 \times 0.558 =$ -0.540 m ³		
	計 3.515 m ³	3.52 m ³	
発 生 土 処 理			
	既設立坑 発生土処理なし		
		— m ³	

鋼製ケーシング立坑調書 (No.1-8-1 既設到達)

3/3

工 種	計 算 式	数 量
舗装切断工 15cm以下	既設立坑 舗装撤去なし	— m
濁水処分工 As t=11cm		— m ³
舗装版破碎工 15cm以下		— m ²
アスコン廃材処理工		— m ³
道路復旧工 車道 31cm	$2.090^2 \times \pi / 4 = 3.43 \text{ m}^2$ $3.43 - 0.820^2 \times \pi / 4 =$	2.90 m ²

土 工 略 図



マンホール工（2号組立マンホール設置工集計表）							
種 別		数 量	備 考	種 別		数 量	備 考
マンホール設置箇所数		5 箇所		直 壁 2 号	1200×600	1 個	10m未満 設置(Ⅱ型)
平均マンホール深(H)		7.355	m/箇所		1200×1200	個	〃
人 孔 設 置	4m以下	箇所			1200×1800	個	〃
	4m超～5m以下	箇所			1200×2100	1 個	〃
	5m超～	5 箇所			1200×2400	個	〃
鉄 蓋	T-25	4 組		軀 体	1200×1800	2 個	10m未満 Ⅱ型
	T-14	1 組			1200×2400	3 個	Ⅱ型
	転落防止用梯子	5 組		底 版	1450×150	5 個	Ⅱ型
	耐スリップ加工	組		中間スラブ FRP製2号用(後付用)		5 個	
口 環 据 付 工	口環変形防止用金具	5 個	M16 L=250mm	削 孔	RS φ 350	2 箇所	Ⅱ型
	無収縮モルタル	5 袋			RS φ 300	2 箇所	Ⅱ型
					VU φ 150	2 箇所	Ⅱ型
調 整 リ ン グ	600×100	5 個			VU φ 150	5 箇所	I 型
	600×150	1 個		底 部 工	インバート有り	5 箇所	
斜 壁 2 号	600×1200×450	3 個			インバート無し	箇所	
	600×1200×600	2 個			再生切込碎石	— m3	
直 壁 2 号	1200×900	個	5m未満 設置(I 型)		インバートコンクリート	1.91 m3	
	1200×1200	個	〃		モルタル上塗り	7.22 m2	
	1200×1500	1 個	〃		下部調整コンクリート 調整コンクリート	0.27 m3	18N/mm2
	1200×1800	4 個	〃				
	1200×2100	1 個	〃				
	1200×2400	4 個	〃				

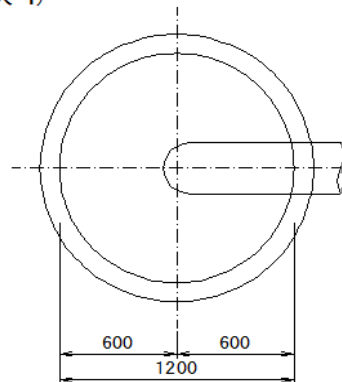
2号組立マンホール調書

マンホール 番号	マンホール 深	流 出 管		流 入 管				副 管				調 整 高	中 間 床	底 版 Ⅱ型	軀 体 Ⅱ型		直 壁								斜壁		調 整 リン		白 鐵 工 金 具 組	鉄 蓋					削 孔			
		管径/管底高	管種	管径	管種	管底高	落差	管径	管種	落差	種別				Ⅱ型				Ⅰ型				45	60	10	15	T 25	T 14		梯 子	耐 滑	Ⅱ型				I型		
															180	240	60	120	180	210	150	180										210	240	350	300		150	150
単 位	m	mm/m		mm		m	mm	mm		mm		mm	組	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	組	組	組	組	組	箇所	箇所	箇所	箇所		
インバート施工 No. 1-4-1	6.528	300 3.652	RS	将来200	VU	6.855	3203	150	VU	3203	外	38	1	1	1							1		1			1	1							1			
インバート施工 No. 1-5-1	6.500	300 3.210	RS	将来200	VU	6.340	3130	150	VU	3130	外	60	1	1	1							1		1		1		1						1	1			
インバート施工 No. 1-6-1	7.025	350 2.885	RS	将来200 将来200 300	VU VU RS	8.142 6.847 2.935	5257 3962 50	将来150 150	VU VU	5257 3962	内外	60	1	1		1						1			1		2		1	1			1		1			
インバート施工 No. 1-7-1	7.672	350 2.498	RS	将来200 将来200 将来200 350	VU VU VU RS	8.262 8.021 7.918 7.255 2.518	5764 5523 5420 4757 20	将来150 150 将来150	VU VU VU	5764 5523 5420 4757	内外 内外 内外	32	1	1		1	1					1			1		1		1	1			1			2		
インバート施工 No. 1-8-1	9.048	既設 400 1.882	RS	将来200 将来200 将来200 350	VU VU VU RS	8.662 7.619 7.556 1.932	6780 5737 5674 50	将来150 150	VU VU	6780 5737 5674	内外 内外	58	1	1		1						1			1		1		1	1			1			2		
マンホール設置工 H≤4m H≤5m H≤11m			箇所 箇所 箇所	平均深H=		インバート工： 有		5 箇所		小計																												
5				7.355 m/箇所		インバート工： 無		箇所		合計	248	5	5	2	3	1				1	1	4	1	4	3	2	5	1	5	4	1	5		2	2	2	5	

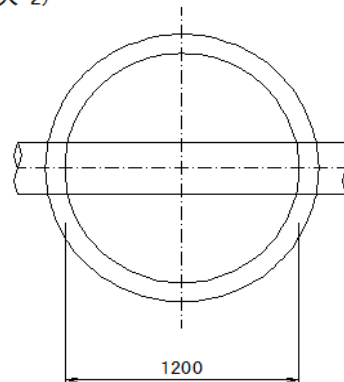
底 部 工（2号マンホール）調 書

1/2

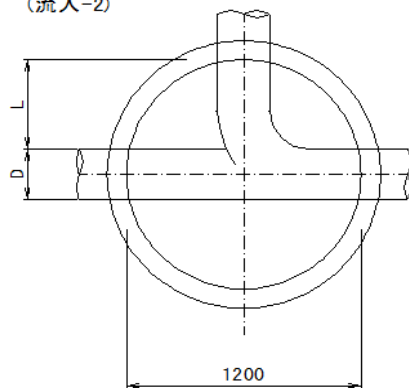
Aタイプ
(流入-1)



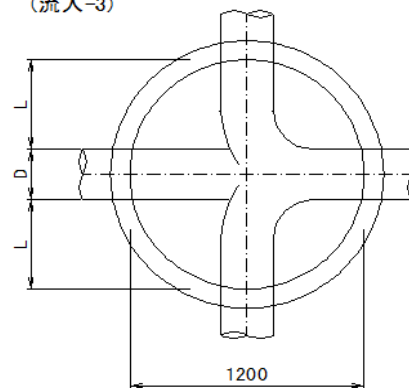
Bタイプ
(流入-2)



Cタイプ
(流入-2)



Dタイプ
(流入-3)



工 種	算 出 根 拠	数 量
インポートコンクリート工 18N/mm2		標準管径
	$1.20^2 \times \pi / 4 \times \{ (0.22+0.24) / 2 + 0.35 / 2 \} = 0.458\text{m}^3$	350
Aタイプ (起点)	$0.458\text{m}^3 - 0.35^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 0.60\text{m} =$	0.429 m ³ /箇所
Bタイプ (流入-1)	$0.458\text{m}^3 - 0.35^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times 1.20\text{m} =$	0.400 m ³ /箇所
Cタイプ (流入-2)	$0.458\text{m}^3 - 0.35^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (1.20+0.30)\text{m} =$	0.386 m ³ /箇所
Dタイプ (流入-3)	$0.458\text{m}^3 - 0.35^2 \times \pi / 4 \times 1/2 \times (1.20+0.60)\text{m} =$	0.371 m ³ /箇所
モルタル上塗り 配合 1:2		
	$1.20^2 \times \pi / 4 = 1.131\text{m}^2$	
Aタイプ (起点)	$1.131\text{m}^2 - 0.35 \times 0.60\text{m} + 0.35 \times \pi \times 1/2 \times 0.60\text{m} =$	1.251 m ² /箇所
Bタイプ (流入-1)	$1.131\text{m}^2 - 0.35 \times 1.20\text{m} + 0.35 \times \pi \times 1/2 \times 1.20\text{m} =$	1.371 m ² /箇所
Cタイプ (流入-2)	$1.131\text{m}^2 - 0.35 \times 1.50\text{m} + 0.35 \times \pi \times 1/2 \times 1.50\text{m} =$	1.431 m ² /箇所
Dタイプ (流入-3)	$1.131\text{m}^2 - 0.35 \times 1.80\text{m} + 0.35 \times \pi \times 1/2 \times 1.80\text{m} =$	1.491 m ² /箇所

底 部 工（2号マンホール）調 書			2/2
工 種	算 出 根 拠	数 量	
マンホール設置箇所		5 箇所	
砕石基礎工(材料) RC-40 t=20cm	$1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.20$		
	$0.330\text{m}^3 \times (5 - 5(\text{立坑人孔})) \text{箇所} =$	— m3	
インバート打設箇所	Aタイプ(起点) 箇所	5 箇所	
	Bタイプ(流入-1) 1 箇所		
	Cタイプ(流入-2) 2 箇所		
	Dタイプ(流入-3) 2 箇所		
インバートコンクリート工 18N/mm2	Aタイプ(起点) $0.429\text{m}^3/\text{箇所} \times 0.0\text{箇所} =$ 0.000 m3		
	Bタイプ(流入-1) $0.400\text{m}^3/\text{箇所} \times 1.0\text{箇所} =$ 0.400 m3		
	Cタイプ(流入-2) $0.386\text{m}^3/\text{箇所} \times 2.0\text{箇所} =$ 0.772 m3		
	Dタイプ(流入-3) $0.371\text{m}^3/\text{箇所} \times 2.0\text{箇所} =$ 0.742 m3		
	計 1.914 m3	1.91 m3	
モルタル上塗り工 配合 1:2	Aタイプ(起点) $1.251\text{m}^2/\text{箇所} \times 0\text{箇所} =$ 0.000 m2		
	Bタイプ(流入-1) $1.371\text{m}^2/\text{箇所} \times 1\text{箇所} =$ 1.371 m2		
	Cタイプ(流入-2) $1.431\text{m}^2/\text{箇所} \times 2\text{箇所} =$ 2.862 m2		
	Dタイプ(流入-3) $1.491\text{m}^2/\text{箇所} \times 2\text{箇所} =$ 2.982 m2		
	計 7.215 m2	7.22 m2	
下部調整コンクリート	No.1-5-1 調整高 0.030 m		
	No.1-7-1 調整高 0.005 m		
	No.1-8-1 調整高 0.130 m		
	計 0.165 m		
下部調整コンクリート工 18N/mm2	$1.45^2 \times \pi / 4 \times 0.165 =$ 0.272 m3	0.27 m3	

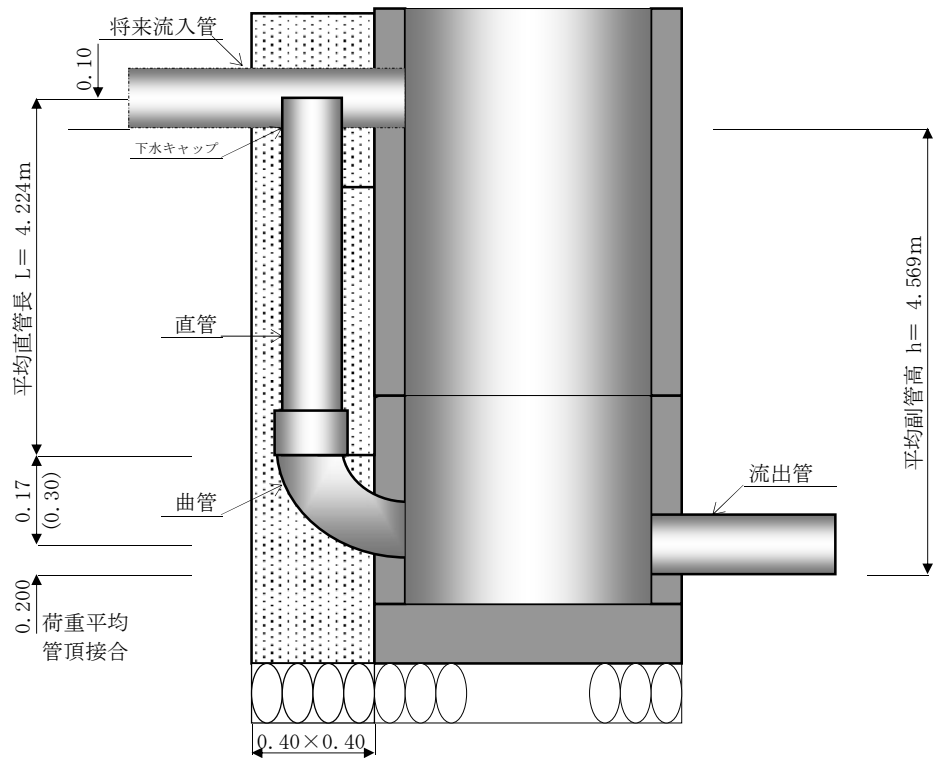
副 管 設 置 工 集 計 表								
名 称		単位	外副管 人孔接続					計
設置箇所数		箇所	7					7
平均高		m	4.569					4.57
管 材 料 等	プレセント [®] 直管 VUφ150	m	29.57					29.57
	副管用90°支管 VUφ150	個	—					—
	接着カラー VUφ150	個	7					7
	副管用90°曲管 VUφ150	個	7					7
	下水キャップ VUφ150	個	7					7
防護コンクリート工 18N/mm2		m3	—					—
型枠工		m2	—					—
碎石基礎工 RC40～0 20cm		m2	—					—

将来副管立上工 (人孔接続)

副管	箇所数	平均副管高	No.1-4-1	No.1-5-1	No.1-6-1	No.1-7-1	No.1-7-1
(mm)	(箇所)	(m)	3. 203	3. 130	3. 962	4. 757	5. 523
VU φ 150	7	4. 569	No.1-8-1	No.1-8-1			
			5. 674	5. 737			

略

囂



工 種	計 算 式	数 量
フ レーン ト 直 管 VU φ 150	平均副管高－落差－曲管高－副管径/2＋0.10	
	$4.569 - 0.200 - 0.17 - 0.150/2 + 0.10 = 4.224\text{m/箇所}$	
	$4.224\text{m/箇所} \times 7\text{箇所} =$	29.57 m
接 着 カ ラ ー VU φ 150	直管 4m/箇所	
	$(4.224\text{m} \div 4\text{m/箇所}) \times 7\text{箇所} =$	7 個
90° 曲 管 VU φ 150		
		7 個
下 水 キ ャ ッ プ VU φ 150		
		7 個

付 帯 工 集 計 表

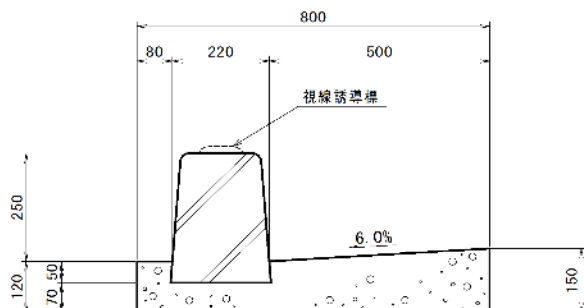
1/2

名 称		単位	立坑工	マンホール工	既存構造物 撤去復旧	立坑影響 舗装工	仮設工	計
舗 装 撤 去 工	舗装切断工 As 15cm以下	m	26.28	—	8.00	—	—	34.3
	舗装切断濁水処分 As	m3	0.056	—	0.021	—	—	0.08
	舗装版破碎工 As 15cm以下	m2	13.72	—	9.60	-0.07	—	23.3
	殻廃材処理工 アスファルト掘削積込	m3	1.24	—	1.06	-0.01	—	2.3
道 路 復 旧 工	道路復旧工 車道 表 層 再生密粒As 5cm	m2	11.60	—	9.60	-0.25	—	21.0
	基 層 再生粗粒As 6cm	m2	11.60	—	9.60	-0.25	—	21.0
	上層路盤 再生粒調 10cm	m2	11.60	—	9.60	—	—	21.2
	下層路盤 再生切込 10cm	m2	11.60	—	9.60	—	—	21.2
	道路復旧工 歩道一般 表 層 再生細粒As 3cm	m2	2.90	—	—	—	—	2.9
	路 盤 再生切込 10cm	m2	2.90	—	—	—	—	2.9
既 存 構 造 物 処 理 工	構造物取壊 機械無筋	m3	—	—	0.01	—	—	0.01
	コンクリート工	m3	—	—	0.03	—	—	0.03
	型枠工	m2	—	—	0.20	—	—	0.20
	歩車道境界ブロック撤去復旧 再利用	m	—	—	2.40	—	—	2.40
	撤去復旧 鉄筋コンクリート管 φ 300	m	—	—	4.00	—	—	4.0
	仮設管布設撤去 硬質塩化ビニル管 φ 250	m	—	—	4.80	—	—	4.8
	45° 曲管	個	—	—	4	—	—	4
土 工	機械掘削 バックホウ0.20m3級	m3	—	—	8.85	—	—	8.9
	埋戻工 バックホウ0.20m3級 発生路盤材	m3	—	—	3.55	—	—	3.6
	バックホウ0.20m3級 再生碎石	m3	—	—	1.87	—	—	1.9
	バックホウ0.20m3級 再生砂	m3	—	—	1.51	—	—	1.5
	発生土処理	m3	—	—	5.30	—	—	5.3

2/2

— 44 —

一般部



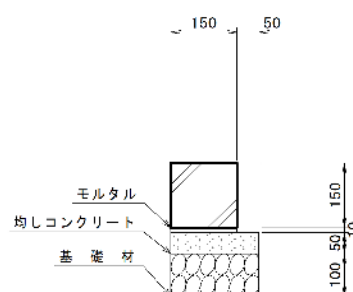
※視線誘導標は、摺付用端部及び1箇所/10m

材料表

10m当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック		本	16.5	
コンクリート	18N/mm ²	m ³	0.92	
型 枠	120+150=270	m ²	2.70	

植樹樹ブロック

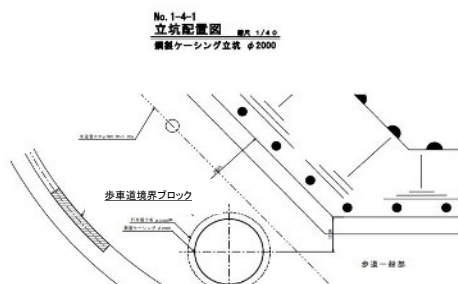


材料表

10m当り

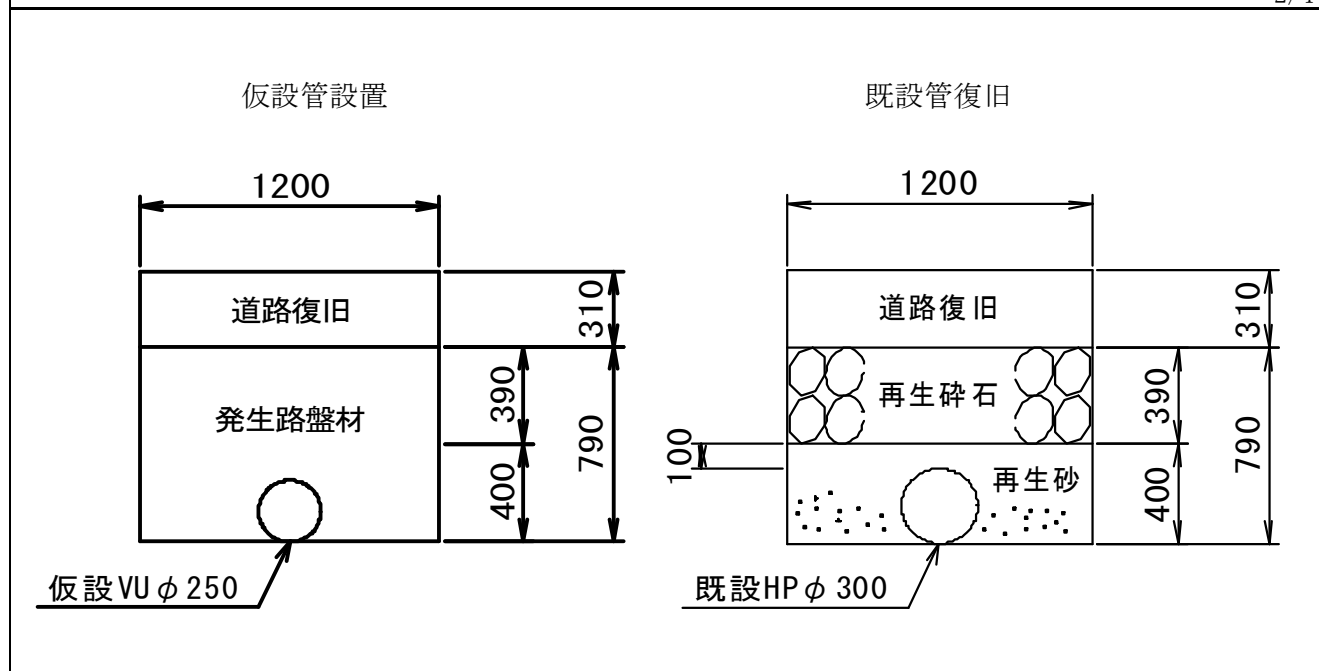
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要
植樹樹ブロック	150x150x600	本	16.4	
モルタル	配合1:3	m ³	0.02	
均しコンクリート	18kN/mm ²	m ³	0.10	
基 礎 材	RC40-0	m ³	—	埋戻材

工 種	算 出 根 拠	数 量
構造物取壊し 機械無筋		
エプロンコンクリート撤去 800x(120/150)	No.1-6-1 立坑影響範囲 0.07 m ²	
	No.1-6-1 0.135m(平均) × 0.07m ² = 0.009 m ³	0.01 m ³
エプロンコンクリート コンクリート工	No.1-8-1 0.135m(平均) × 0.25m ² = 0.034 m ³	0.03 m ³
型枠工	No.1-8-1 0.150m × 1.30m = 0.195 m ²	0.20 m ²
歩車道境界ブロック撤去復旧 再利用	No.1-4-1	2.40 m



既存構造物撤去処理工

2/4



工 種	算 出 根 拠	数 量
鉄筋コンクリート管撤去復旧 HP φ 300	No.1-7-1 立坑影響範囲	4.00 m
硬質塩化ビニル管布設撤去 VU φ 250	No.1-7-1 立坑影響範囲	4.80 m
45° 曲管		4 個
土工		
	掘削深さ 1.10 m	
	掘削幅 1.20 m	
	掘削延長 4.00 m	
	※仮設管掘削延長 4.40 m	
	管断面(既設HP φ 300) 0.102 m ²	
	管断面(仮設VU φ 250) 0.056 m ²	
仮設管設置		
舗装切断工 As 15cm以下	4.00 × 2 =	8.00 m
濁水処分工 As t=11cm	8.00 × 0.262m ³ /100m =	0.021 m ³

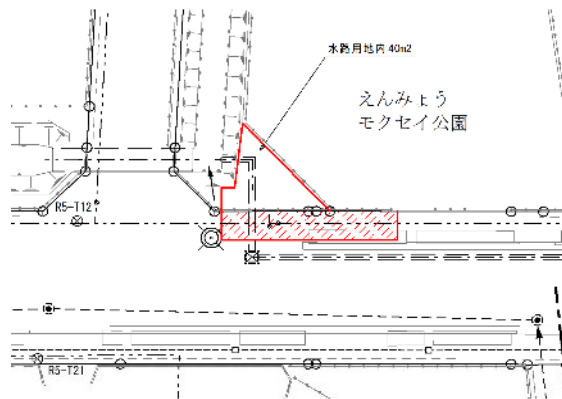
既 存 構 造 物 撤 去 処 理 工			3/4
工 種	算 出 根 拠	数 量	
舗装版破砕工 15cm以下			
	$4.00 \times 1.20 =$	4.80 m ²	
アスコン廃材処理工			
	$4.80 \times 0.11 =$	0.53 m ³	
道路復旧工 都計道車道 31cm			
	$4.00 \times 1.20 =$	4.80 m ²	
機械掘削 バックホウ0.20m ³ 級			
	$[\{ 1.20 \times (1.10 - 0.11) \} - 0.102] \times 4.00 =$	4.34 m ³	
埋戻工 バックホウ0.20m ³ 級 発生路盤材			
	$1.20 \times (1.10 - 0.31) \times 4.0 - 0.056 \times 4.40 =$	3.55 m ³	
発生土処理			
	$4.34 - 3.55 =$	0.79 m ³	
既設管復旧			
舗装切断工 As 15cm以下			
	既設管撤去にて計上	— m	
濁水処分工 As t=11cm			
	既設管撤去にて計上	— m ³	
舗装版破砕工 15cm以下			
	$4.00 \times 1.20 =$	4.80 m ²	
アスコン廃材処理工			
	$4.80 \times 0.11 =$	0.53 m ³	
道路復旧工 都計道車道 31cm			
	$4.00 \times 1.20 =$	4.80 m ²	
機械掘削 バックホウ0.20m ³ 級			
	$1.20 \times (1.10 - 0.11) \times 4.0 - 0.056 \times 4.40 =$	4.51 m ³	
埋戻工 バックホウ0.20m ³ 級 再生砕石			
	$1.20 \times 0.39 \times 4.00 =$	1.87 m ³	
埋戻工 バックホウ0.20m ³ 級 再生砂			
	$(1.20 \times 0.40 - 0.102) \times 4.00 =$	1.51 m ³	
発生土処理			
	=機械掘削	4.51 m ³	

[illegible]

仮 設 工 (プラント用地) 調 書

1/2

No. 1-5-1 両発進立坑部



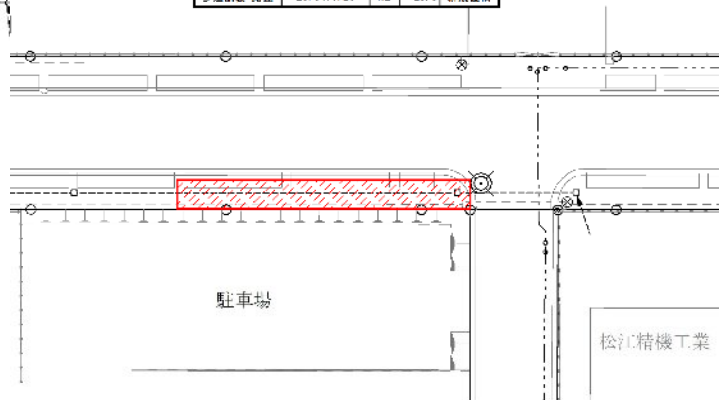
設置撤去項目表

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
敷鉄板設置	3.0 x 18.0	m2	54.0	道路内
歩車道境界ブロック		m	10.0	撤去復旧
地先境界ブロック		m	12.1	撤去
ネットフェンス		m	12.0	撤去復旧
標識	10.0 x 1.05	m2	10.5	撤去
歩道詳装・路盤	10.0 x 1.20	m2	12.0	新設復旧

No. 1-7-1 両発進立坑部

設置撤去項目表

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
敷鉄板設置	3.0 x 30.0	m2	90.0	道路内
歩車道境界ブロック		m	23.6	撤去復旧
地先境界ブロック		m	29.9	撤去
標識	23.6 x 1.05	m2	24.8	撤去
伏採(円木)	幹周120, 高さ4m	本	3	撤去
歩道詳装・路盤	23.6 x 1.20	m2	28.3	新設復旧



工 種	算 出 根 拠	数 量
敷鉄板設置撤去 No.1-5-1	$3.0 \times 18.0 =$	54.0 m ²
No.1-7-1	$3.0 \times 30.0 =$	90.0 m ²
損料枚数 No.1-5-1	$22 \times 1,524 \times 6,096 \quad 54.0 \text{ m}^2 \div 9.0 \text{ m}^2/\text{枚} =$	6 枚
No.1-7-1	$22 \times 1,524 \times 6,096 \quad 90.0 \text{ m}^2 \div 9.0 \text{ m}^2/\text{枚} =$	10 枚
損料重量(最大値)	$1.604 \text{ t}/\text{枚} \times 10 \text{ 枚} =$	16.040 t
歩車道境界ブロック撤去復旧 再利用 No.1-5-1		10.0 m
No.1-7-1		23.6 m
	計	33.6 m
地先境界ブロック撤去 撤去 No.1-5-1		12.1 m
No.1-7-1		29.9 m
	計	42.0 m

